

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者	ガッコウホウジン ジッセンジョシガクエン 学校法人 実践女子学園							
フリガナ大学の名称	ジッセンジョシダイガク 実践女子大学 (Jissen Women's University)							
大学本部の位置	東京都日野市大坂上四丁目1番地の1							
大学の目的	本学は、教育基本法、学校教育法及び実践女子学園の建学の精神に則り、深く専門の学芸を教授研究し、かつ人格の完成を目標として幅広く深い教養を培い、国際的視野に立つ社会人として自己の信ずるところを實踐し、もって文化の創造と人類の福祉とに寄与する人材を育成することを目的とする。							
新設学部等の目的	本学は生活科学部に現代生活学科を新たに設置し、社会や地域との繋がりを教育研究することとする。現代生活学科の届出設置により平成26年4月より4学科体制とするため、大学の収容定員を増加する学則変更を行う。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	文学部	年	人	3年次人	人		年 月 第 年次	東京都渋谷区東一丁目1番地49
	国文学科	4	110	9	458	学士（文学）	昭和40年4月 第1年次	
	英文学科	4	110	9	458	学士（文学）	昭和40年4月 第1年次	
	美学美術史学科	4	90	2	364	学士（文学）	昭和60年4月 第1年次	
	生活科学部			310	20	1280		東京都日野市大坂上四丁目1番地の1
	食生活科学科							
	管理栄養士専攻	4	70	-	280	学士（生活科学）	昭和41年4月 第1年次	
	食物科学専攻	4	75	-	300	学士（生活科学）	昭和41年4月 第1年次	
	健康栄養専攻	4	40	-	160	学士（生活科学）	平成25年4月 第1年次	
	生活環境学科	4	80	2	324	学士（生活科学）	昭和40年4月 第1年次	
	生活文化学科							
	生活文化専攻	4	40	2	164	学士（生活科学）	平成19年4月 第1年次	
	幼児保育専攻	4	45	-	180	学士（生活科学）	平成19年4月 第1年次	
	現代生活学科	4	60 (0)	-	240 (0)	学士（生活科学）	平成26年4月 第1年次	※平成25年4月 設置届出予定
	人間社会学部			410 (350)	4	1648 (1408)		東京都渋谷区東一丁目1番地49
	人間社会学科	4	100	-	400	学士（人間社会学）	平成16年4月 第1年次	
現代社会学科	4	100	-	400	学士（人間社会学）	平成23年4月 第1年次		
計		200	-	800				
		920 (860)	24	3728 (3488)				

同一設置者内における 変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)		平成26年4月 名称変更予定 実践女子短期大学 → 実践女子大学短期大学部							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位			
教 員 組 織 の 概 要	学部等の名称		専任教員等					兼任 教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	
			人	人	人	人	人	人	
	新	文学部 国文学科	12 (13)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	16 (17)	0 (0)	49 (49)
		英文学科	9 (9)	2 (2)	4 (4)	1 (1)	16 (16)	0 (0)	56 (56)
		美学美術史学科	6 (6)	3 (3)	1 (1)	2 (2)	12 (12)	0 (0)	50 (50)
	設	生活科学部 食生活科学科	17 (19)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	24 (26)	0 (0)	35 (35)
		生活環境学科	10 (10)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	13 (13)	0 (0)	40 (40)
		生活文化学科	9 (9)	3 (3)	3 (3)	1 (1)	16 (16)	0 (0)	42 (42)
		現代生活学科	3 (3)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	8 (8)
	分	人間社会学部 人間社会学科	6 (6)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	20 (20)
		現代社会学科	6 (6)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	16 (16)
	概	計	78 (81)	26 (26)	12 (12)	7 (7)	123 (126)	0 (0)	316 (316)
	要	既設分	なし	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	計	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
	合計	78 (81)	26 (26)	12 (12)	7 (7)	123 (126)	0 (0)	316 (316)	
教員以外の職員の概要	職種		専任		兼任		計		
			人		人		人		
	事務職員		45 (45)		49 (49)		94 (94)		
	技術職員		0 (0)		0 (0)		0 (0)		
	図書館専門職員		7 (7)		0 (0)		7 (7)		
その他の職員		44 (44)		0 (0)		44 (44)			
	計	96 (96)		49 (49)		145 (145)			

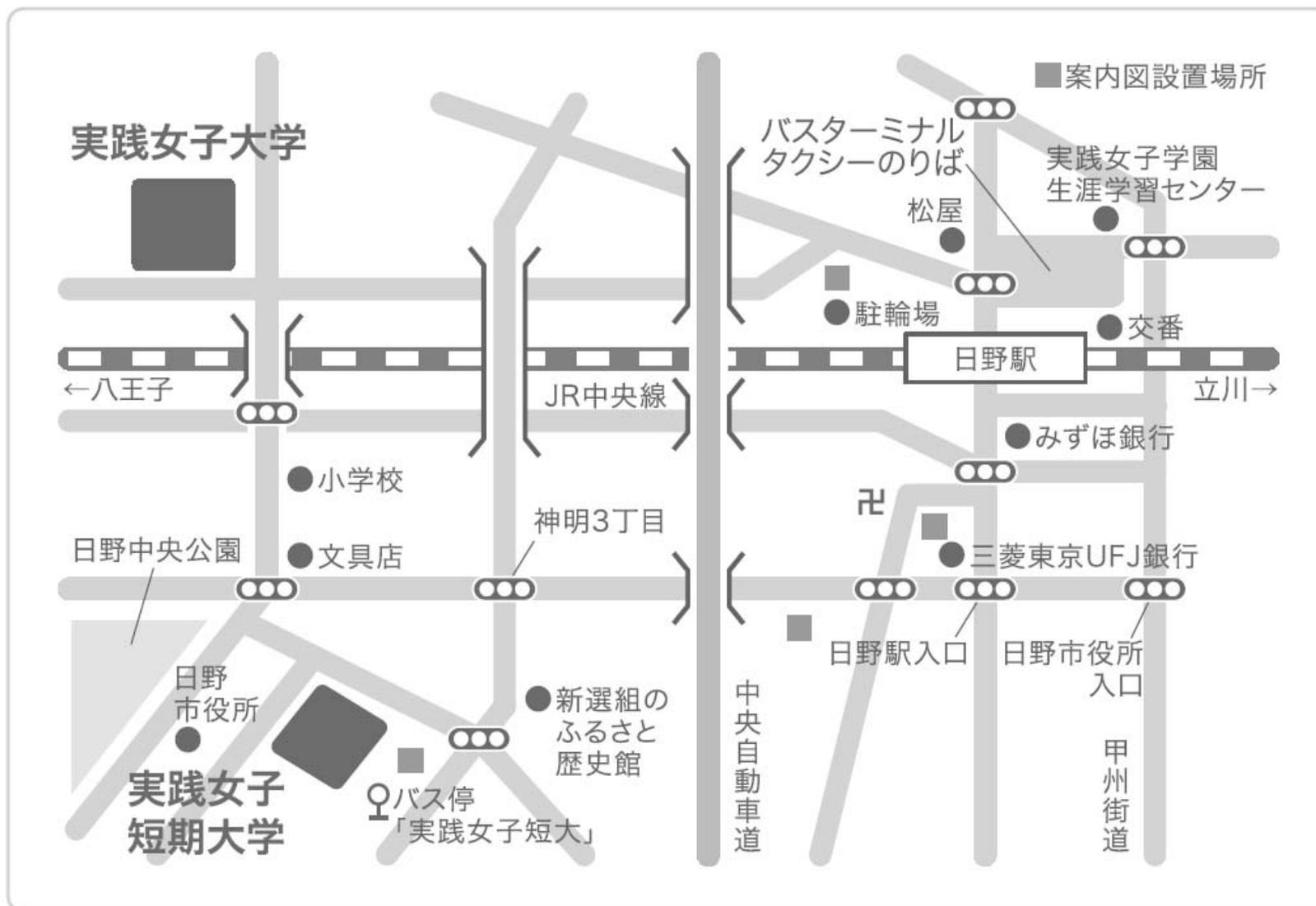
平成25年4月届出予定

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	実践女子短期大 学と共用				
	校 舎 敷 地	32,295㎡	4,758㎡	0㎡	37,053㎡					
	運 動 場 用 地	10,740㎡	0㎡	9,353㎡	20,093㎡					
	小 計	43,035㎡	4,758㎡	9,353㎡	57,146㎡					
	そ の 他	859㎡	1,996㎡	16,606㎡	19,461㎡					
合 計	43,894㎡	6,754㎡	25,959㎡	76,607㎡						
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	実践女子短期大 学と共用				
		27,392㎡ (35,406㎡)	25,804㎡ (25,804㎡)	0㎡ (0㎡)	53,196㎡ (53,196㎡)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設					
	93室	40室	42室	7室 (補助職員6人)	1室 (補助職員0人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数						
		大学全体		205 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
	大学全体	669,655 [120,833] (669,655 [120,833])	8,657 [1,010] (8,657 [1,010])	6契約、484 [484] タイトル (6契約、484 [484] タイトル)	24,063 (24,063)	1,468 (1,468)	16 (16)			
	計	669,655 [120,833] (669,655 [120,833])	8,657 [1,010] (8,657 [1,010])	6契約、484 [484] タイトル (6契約、484 [484] タイトル)	24,063 (24,063)	1,468 (1,468)	16 (16)			
図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
		6,762㎡		559	699,000					
体 育 館		面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要			大学全体			
		2,245㎡		テニスコート 4面 卓球場						
経費の 見積り 及び 維持 方法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書費には電子 ジャーナル・デー タベースの整備費 (運用コスト含 む)を含む
		教員1人当り研究費等		400千円	400千円	400千円	400千円	—千円	—千円	
		共同研究費等		37,393千円	37,638千円	38,581千円	38,826千円	—千円	—千円	
		図書購入費	63,261千円	58,282千円	59,268千円	60,253千円	61,239千円	—千円	—千円	
	設備購入費	852,485千円	245,626千円	586,045千円	45,531千円	45,597千円	—千円	—千円		
	学生 1人 当り 納付 金	生活科学部	第1年次		第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体
			食生活科学科	1,340千円	1,060千円	1,060千円	1,060千円	—千円	—千円	
			生活環境学科							
			生活文化学科 幼児保育専攻							
			生活文化学科 生活文化専攻	1,300千円	1,020千円	1,020千円	1,020千円	—千円	—千円	
現代生活学科										
文学部										
人間社会学部										
学生納付金以外の維持方法の概要			寄付金収入，私立大学経常経費補助金，資産運用収入，事業収入 等							

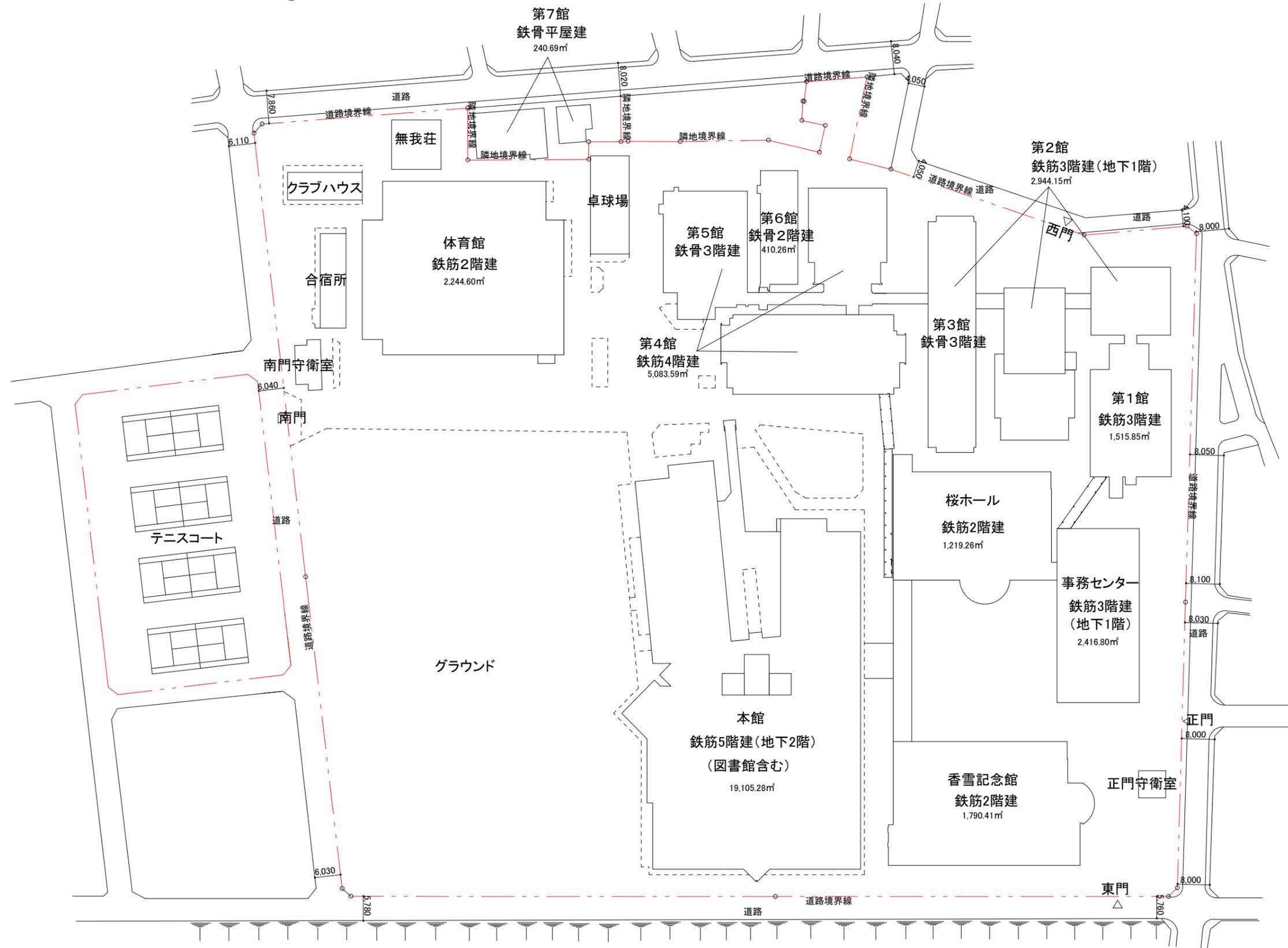
大学等の名称	実践女子大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
既設大学等の状況	文学部	年	人	3年次人	人		倍		
							1.20		
	国文学科	4	110	13	478	学士(文学)	1.21	昭和40年度	
	英文学科	4	110	13	478	学士(文学)	1.22	昭和40年度	
	美学美術史学科	4	90	8	388	学士(文学)	1.16	昭和60年度	
	生活科学部						1.16		
	食生活科学科	4	185	4	613	学士(生活科学)	1.10		
	食生活科学科 管理栄養士専攻	4	70	2	266	学士(生活科学)	1.10	昭和41年度	
	食生活科学科 食物科学専攻	4	75	2	307	学士(生活科学)	1.10	昭和41年度	
	食生活科学科 健康栄養専攻	4	40	-	40	学士(生活科学)	1.32	平成25年度	
	生活環境学科	4	80	2	332	学士(生活科学)	1.24	昭和40年度	
	生活文化学科	4	85	4	359	学士(生活科学)	1.19		
	生活文化学科 生活文化専攻	4	40	2	172	学士(生活科学)	1.28	平成19年度	
	生活文化学科 幼児保育専攻	4	45	2	187	学士(生活科学)	1.11	平成19年度	
	人間社会学部						1.15		
	人間社会学科	4	100	10	470	学士(人間社会学)	1.15	平成16年度	東京都日野市大坂上四丁目1番地の1
	現代社会学科	4	100	10	310	学士(人間社会学)	1.10	平成23年度	
	文学研究科						0.19		
	国文学専攻 (博士後期課程)	3	3	-	9	博士(文学)	0.00	昭和44年度	
	国文学専攻 (博士前期課程)	2	10	-	20	修士(文学)	0.20	昭和41年度	
英文学専攻 (修士課程)	2	6	-	12	修士(文学)	0.00	昭和41年度		
美術史学専攻 (博士後期課程)	3	2	-	6	修士(文学)	0.16	平成23年度		
美術史学専攻 (博士前期課程)	2	6	-	12	修士(文学)	0.58	平成4年度		
生活科学研究科						0.41			
食物栄養学専攻 (博士後期課程)	3	2	-	6	博士(食物栄養学)	0.16	平成17年度		
食物栄養学専攻 (博士前期課程)	2	6	-	12	修士(食物栄養学)	0.41	昭和41年度		
生活環境学専攻 (修士課程)	2	6	-	12	修士(生活科学)	0.66	平成元年度		
人間社会研究科						0.14			
人間社会専攻 (修士課程)	2	7	-	14	修士(人間社会)	0.14	平成22年度		

既設大学等の状況	大学の名称	実践女子短期大学							※平成25年度より学生募集停止	
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度		所在地
		年	人	年次人	人		倍			
	日本語コミュニケーション学科	2	80	—	160	短期大学士 (日本語コミュニケーション学)	1.25	昭和27年度		東京都日野市神明一丁目13番地の1 (平成26年4月から東京都渋谷区東一丁目1番地49)
英語コミュニケーション学科	2	100	—	200	短期大学士 (英語コミュニケーション学)	0.83	昭和27年度			
食物栄養学科	2	—	—	80	短期大学士 (食物栄養学)	—	昭和25年度			
附属施設の概要		<p>名称 文芸資料研究所（文学部附属） 目的 文学研究 所在地 東京都日野市大坂上四丁目1番地の1 設置年月 昭和54年5月 規模等 建物面積80.71㎡（校舎内）</p> <p>名称 外国語教育研究センター 目的 外国語教育の充実と発展 所在地 東京都日野市大坂上四丁目1番地の1 設置年月 平成16年4月 規模等 建物面積144.16㎡（校舎内）</p>								

最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面



JR 日野駅から 900m 徒歩 14分



実践女子大学学則

第 1 章 総 則

- 第 1 条 本学は、教育基本法、学校教育法及び実践女子学園の建学精神に則り、深く専門の学芸を教授研究し、かつ人格の完成を目標として幅広く深い教養を培い、国際的視野に立つ社会人として自己の信ずるところを實踐し、もって文化の創造と人類の福祉とに寄与する人材を育成することを目的とする。
- 第 2 条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検、評価を行うこととする。
- 2 前項の点検、評価の方法等については、別に定める。

第 2 章 大学院、学部、学科等の組織、目的

- 第 3 条 本学に文学部、生活科学部、人間社会学部をおき、修業年限は各 4 年とする。
- 2 文学部に国文学科、英文学科、美学美術史学科をおく。
- 3 生活科学部に食生活科学科、生活環境学科、生活文化学科、現代生活学科をおき、食生活科学科には管理栄養士専攻、食物科学専攻、健康栄養専攻を、生活文化学科には生活文化専攻と幼児保育専攻をおく。
- 4 人間社会学部に人間社会学科、現代社会学科をおく。
- 5 学生は、8 年を超えて在学することはできない。
- 第 4 条 本学に大学院をおく。
- 2 大学院に関する事項は、別に定める。
- 第 5 条 文学部及び文学部各学科の教育研究上の目的は以下のとおりとする。
- 2 文学部では、日本、東洋、西洋の文学、言語、美術の各分野における幅広い学識を授け、現代社会に寄与しうる人材の育成に努めることを目的とする。
- 3 国文学科では、日本文学を体系的、理論的、総合的に研究し、日本語の本質と変遷を解明することにより、日本文化の進展に寄与しうる人材を育成することを目的とする。そのため、研究の対象を広げることにも努め、古典を重視するとともに近代現代の文学、さらにはそれらに大きな影響を与えた中国の思想と文学に深く配慮し、現代の我々の言語生活に直結する歴史的課題にも留意した教育を實踐する。
- 4 英文学科では、大学生としてのしっかりとした基礎の上に英語の運用能力を養成し、英語圏文化に関する幅広い知識と教養を身につけることにより、知的好奇心を備え、主体的に国際化社会で活躍できる人材の育成を目的とする。
- 5 美学美術史学科では、日本、東洋、西洋各地域の美術史と美学及び日本芸能史について、幅広い知識と教養を身につけ、美術の実技を学ぶことも含めて、芸術についての総合的な理解力と自己表現力を養い、芸術、文化とそれを生み出した社会に対する理解と洞察力を備えた人材の育成を目的とする。
- 第 6 条 生活科学部及び生活科学部各学科・専攻の教育研究上の目的は次のとおりとする。
- 2 生活科学部では、食物、栄養、健康、衣服、もの、住まい、ライフスタイル、幼児・保育に関する広い学識を授け、各々の専門に係る職業に必要な知識と能力の養成を目的とする。
- 3 食生活科学科では、社会で必要とされる健康と栄養、食と暮らしのスペシャリストを育成する。さらに、食関連の職業に就いたときに活躍できる能力と、取得した資格に相応しい実力の養成を目的とする。

- (1) 管理栄養士専攻
食物、栄養、健康に関する広い学識を授け、管理栄養士として、また、食品衛生監視員・管理者として実務に適用できる人材の育成を目的とする。
- (2) 食物科学専攻
食物、栄養、健康に関する広い学識を授け、フードスペシャリスト、家庭科教員、食品衛生監視員・管理者として実務に適用できる人材の育成を目的とする。
- (3) 健康栄養専攻
食物、栄養、健康に関する広い学識を授け、栄養士、栄養教諭、食品衛生監視員・管理者として実務に適用できる人材の育成を目的とする。
- 4 生活環境学科では、衣服、もの、住まいに関する広い学識を授け、専門性を要する職業に就いたときに活躍できる能力の養成を目的とする。
- 5 生活文化学科では、暮らしと仕事の関係を明確にして、職業人・生活者としてライフスタイルを設計できる能力の養成を目的とする。
 - (1) 生活文化専攻
暮らしと仕事の関係を明確にして、専らライフスタイルの可能性を求める者に対し、職業人・生活者としてライフスタイルを設計できる能力の養成を目的とする。
 - (2) 幼児保育専攻
暮らしと仕事の関係を明確にして、ライフスタイルに保育士を織り込んでいる者に対し、職業人・生活者としてライフスタイルを設計できる能力の養成を目的とする。さらに、幼稚園教員として実務に適用できる人材を育成する。
- 6 現代生活学科では、現代生活の問題を構造的に捉えクリエイティブに解決できる人材の育成を目的とする。

第 7 条

- 人間社会学部及び人間社会学部各学科の教育研究上の目的は以下のとおりとする。
- 2 人間社会学部では、国際化の進展、情報化の進展、社会の成熟化が進むなかで、社会の要請と国民の多様で高度な学びの要求に応える学部教育を目指す。学生が自ら主体的に学び、考え活動できる能力の養成を願い、「共に学び合う共同体」づくりを目指す。
- 3 人間社会学部では、社会に対する学としての社会学、人間行動・人間関係・心理に対する学としての心理学を基礎にしつつ、現代の高度化された産業・消費・ビジネス社会への適応、及び課題解決能力の開発のために、また、人と人、人と社会の円満な関係を築きあげることのできる能力の養成を目的とする。
- 4 現代社会学部では、社会人に求められる幅広い知識・技能及び教育・社会や企業社会、コミュニケーションを中心とする専門的な知識・理論を活用し、現代社会の企業・地域社会を理解し、その活動や問題を把握し取り組む能力を習得させ、企業組織・地域社会で活躍し貢献できる実務能力を有する人材の養成を目的とする。

第 8 条

文学部の学生定員を次のとおりとする。

学 科	入 学 定 員	編入学定員(第3年次)	収 容 定 員
国 文 学 科	110 名	9 名	458 名
英 文 学 科	110 名	9 名	458 名
美学美術史学科	90 名	2 名	364 名

第 9 条

生活科学部の学生定員を次のとおりとする。

学 科	専 攻	入 学 定 員	編入学定員(第3年次)	収 容 定 員
食生活科学科	管理栄養士専攻	70 名	—	280 名

	食物科学専攻	75名	—	300名
	健康栄養専攻	40名	—	160名
生活環境学科		80名	2名	324名
生活文化学科	生活文化専攻	40名	2名	164名
	幼児保育専攻	45名	—	180名
現代生活学科		60名	—	240名

第 10 条 人間社会学部の学生定員を次のとおりとする。

学 科	入 学 定 員	編入学定員(第3年次)	収 容 定 員
人間社会学科	100名	—	400名
現代社会学科	100名	—	400名

第 11 条 本学に大学教育研究センター、外国語教育研究センターをおく。

- 2 大学教育研究センターに関する規程は、別に定める。
- 3 外国語教育研究センターに関する規程は、別に定める。

第 12 条 本学文学部に文芸資料研究所を附置する。

- 2 文芸資料研究所に関する規程は、別に定める。

第 3 章 授 業 科 目

第 13 条 授業科目は、各学科共これを必修科目と選択科目とに分け、学年の始めに定める。

第 14 条 文学部・生活科学部・人間社会学部の共通教育科目は、別表第1のとおりとする。

第 15 条 文学部国文学科、英文学科、美学美術史学科の専門科目は、別表第3のとおりとする。

- 2 生活科学部食生活科学科管理栄養士専攻、同食物科学専攻、同健康栄養専攻、生活環境学科、生活文化学科生活文化専攻、同幼児保育専攻、現代生活学科の専門科目は、別表第4のとおりとする。
- 3 人間社会学部人間社会学科、現代社会学科の専門科目は、別表第5のとおりとする。

第 16 条 教育職員免許状取得希望者、図書館司書、学校図書館司書教諭資格取得希望者及び博物館学芸員資格取得希望者は、学部学科で定めた授業科目以外に、教職は別表第6、司書は別表第7、司書教諭は別表第8、学芸員は別表第9の授業科目を履修しなければならない。

- 2 本学の各学科において取得できる教育職員免許状の種類は、次のとおりとする。

学 部	学 科	取得できる教育職員免許状の種類	
文 学 部	国 文 学 科	中学校教諭 1種免許状	国 語
		高等学校教諭 1種免許状	国 語・書 道
	英 文 学 科	中学校教諭 1種免許状	外国語(英語)
		高等学校教諭 1種免許状	外国語(英語)
	美 学 美 術 史 学 科	中学校教諭 1種免許状	美 術
		高等学校教諭 1種免許状	美 術

生活科学部	食生活科学科	管理栄養士専攻	栄養教諭	1種免許状	
		食物科学専攻	中学校教諭	1種免許状	家庭
			高等学校教諭	1種免許状	家庭
		健康栄養専攻	栄養教諭	2種免許状	
	生活環境学科		中学校教諭	1種免許状	家庭
			高等学校教諭	1種免許状	家庭
			高等学校教諭	1種免許状	情報
	生活文化化学科	生活文化専攻	中学校教諭	1種免許状	家庭
			高等学校教諭	1種免許状	家庭
		幼児保育専攻	幼稚園教諭	1種免許状	
			小学校教諭	1種免許状	
現代生活学科		中学校教諭	1種免許状	家庭	
		高等学校教諭	1種免許状	家庭	
人間社会学部	人間社会学科	中学校教諭	1種免許状	社会	
		高等学校教諭	1種免許状	公民	
	現代社会学科	中学校教諭	1種免許状	社会	
		高等学校教諭	1種免許状	公民	

- 3 管理栄養士の資格を取得しようとする者は、食生活科学科管理栄養士専攻に在籍し、第26条の規定によるほか、第15条別表第4に定める所定の授業科目を履修し、国家試験を受験しなければならない。
- 4 栄養士の資格を取得しようとする者は、食生活科学科管理栄養士専攻又は同健康栄養専攻に在籍し、第26条の規定によるほか、第15条別表第4に定める「栄養士資格取得に必要な単位」を修得しなければならない。
- 5 一級建築士又は二級建築士試験の受験資格を取得しようとする者は、生活環境学科に在籍し、建築士法に定める必要な単位を修得しなければならない。
- 6 保育士の資格を取得しようとする者は、生活文化化学科幼児保育専攻に在籍し、第26条の規定によるほか、第14条別表第1及び第15条別表第4に定める「保育士資格取得に必要な単位」を修得しなければならない。

第 4 章 履修方法、単位算定

- 第 17 条 学生は、履修しようとする授業科目を毎学年又は毎学期の始めに登録しなければならない。登録していない授業科目には単位を与えない。
- 第 18 条 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上特別の必要があると認められる場合は、この限りでない。
- 第 19 条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。
- 2 1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

(1) 講義・演習については、15時間をもって1単位とする。ただし、授業科目の内容によっては、教育効果を考慮して必要があるときは、30時間をもって1単位とすることができる。

(2) 実験、実習及び実技については、45時間をもって1単位とする。ただし、授業科目の内容によっては、教育効果を考慮して必要があるときは、30時間をもって1単位とすることができる。

3 卒業論文又はこれに代る授業科目は、国文学科では6単位、英文学科では6単位、美学美術史学科では6単位、食生活科学科では6単位、生活環境学科では6単位、生活文化学科では6単位、現代生活学科では4単位、人間社会学科では8単位、現代社会学科では8単位とする。

第 20 条 本学が教育上有益と認めるときは、あらかじめ他の大学又は短期大学と協議したところにより、学生が当該の他大学等において履修した授業科目を本学において修得したものとして認めることができる。

2 本学が教育上有益と認めるときは、短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修、その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学において修得したものとして認めることができる。

3 本学が教育上有益と認めるときは、本学が留学先として適当と認めた外国の大学あるいはこれに相当する高等教育機関において履修した授業科目を本学において修得したものとして認めることができる。

4 留学に関する規程は、別に定める。

5 1項、2項及び3項において認めることのできる単位数の合計は次条で認めた修得単位と合わせて60単位を超えないものとし、単位の取り扱いに関しては別に定める。

第 21 条 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する以前に大学又は短期大学において修得した単位（第57条に規定する科目等履修生として修得した単位を含む。）を本学において修得した単位として前条で認めた修得単位と合わせて60単位を超えない範囲で認めることがある。なお、単位認定と関連して修業年限の短縮は行わない。

2 編入学・転入学の場合は、前項の単位認定とは別に認めることができる。

3 単位の取り扱いに関しては、別に定める。

第 5 章 学習評価、卒業の認定

第 22 条 定期試験は、毎年2回各学期の終わりに行う。ただし、休学中の者は試験を受けることはできない。

第 23 条 病気又は事故により試験に欠席したときは、願い出により追試験を許可することができる。

2 追試験に関する規程は別に定める。

第 24 条 試験等の評価は、+A・A・B・C・Dの五段階とし、C以上を合格とする。卒業論文についても同様である。

第 25 条 卒業論文又はこれに代る授業科目の制作物は、専門科目の範囲内で題目を定め、文学部及び人間社会学部は12月20日までに、生活科学部は2月末日までにそれぞれ提出

しなければならない。

第 26 条 本学を卒業するためには、4年以上在学し、次表に定める単位を修得しなければならない。

学部学科		授業科目の区分		共通教育 科目	専門科目	選択自由 単位	合 計	
文学部	国文学科			34	70	20	124 単位以上	
	英文学科			28	76	20	124 単位以上	
	美学美術史学科			28	76	20	124 単位以上	
生活科学部	食生活 科学科	管理栄養士専攻		20	100	4	124 単位以上	
		食物科学専攻		28	76	20	124 単位以上	
		健康栄養専攻		24	90	10	124 単位以上	
	生活環境学科			28	76	20	124 単位以上	
	生活文 化学科	生活文化専攻			36	76	12	124 単位以上
		幼児保育専攻			20	86	18	124 単位以上
	現代生活学科				36	76	12	124 単位以上
人間社会部	人間社会学科			30	82	12	124 単位以上	
	現代社会学科			30	82	12	124 単位以上	

2 前項の単位修得に関しては、別に定める。

第 27 条 大学に4年以上在学し、本学則に定める授業科目及び単位を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

2 学長は、卒業を認定した者に次の学位を授与する。

文学部卒業者 学 士 (文 学)

生活科学部卒業者 学 士 (生活科学)

人間社会学部卒業者 学 士 (人間社会学)

第 28 条 在学8年（休学期間は除く）を超えてなお所定の単位を修得できない者は、これを除籍する。

第 6 章 入学・転部・転科・退学・休学・転学

第 29 条 入学の時期は、学年の始めとする。

第 30 条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 高等学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

(3) 通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者

(4) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

(5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した、在外教育施設の当該課程を修了した者

- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定合格者を含む。）
- (8) その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達した者

第 31 条 次の各号の一に該当する者で、本学への編入学・転入学を志願する者があるときは、選考のうえ相当年次に入学を許可することがある。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学に 2 年以上在学した者
- (3) 短期大学を卒業した者
- (4) その他前各号と同等以上の学力があると本学で認めた者

2 本学学生で転部・転科を志願する者があるときは、選考のうえ相当年次に転部・転科を許可することがある。

第 32 条 入学志願者に対しては、選考試験を行う。その方法は、その都度定める。

第 33 条 入学志願者は、所定の入学願書に入学検定料を添えて願出しなければならない。

第 34 条 選考試験に合格した者は、指定の期日までに入学金その他の納付金を納入しなければならない。また、別に定める期日までに、保証人による保証書を提出しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

第 35 条 保証人は、父又は母（父母のない場合は、独立の生計を営む身元確実の成年に達した者。外国人で父母が日本に居住していない場合は、我が国に在住する独立の生計を営む身元確実の成年に達した者。）とし、その学生の在学中における経済的負担を含む一切の責任を負うものとする。

第 36 条 保証人の身分に異動があったとき、又は死亡したときには、その旨直ちに届け出なければならない。

第 37 条 学生が病気又は事故によって欠席するときには、その旨届け出なければならない。ただし、欠席が 1 週間以上にわたるときには、保証人の連署を要し、病気ときには、医師の診断書を添えなければならない。

第 38 条 退学しようとする者又は転学しようとする者は、その理由を具し、保証人の連署で願出なければならない。

第 39 条 病気又は事故によって、引き続き 3 か月以上学習することができない者は、その理由を具し、保証人の連署で休学を願出することができる。

2 休学期間は、通算して 2 年を超えることができない。

第 40 条 休学期間は、第 3 条第 5 項の在学年数に算入しない。

第 41 条 休学している者が復学しようとするときは、保証人連署のうえ願出で許可を得なければならない。

第 42 条 いったん退学した者が再入学しようとするときは、退学後 2 年以内に限り選考のうえ

許可することがある。

第 43 条 授業料その他の学費の納付を怠り、督促を受けてもなお納付しない者は、除籍する。

第 7 章 学 費

第 44 条 本学の学費は、次のとおりである。ただし、場合によりこれを変更することがある。

1.入 学 金	280,000 円	
2.授 業 料 (年 額)	700,000 円	
3.実験実習費 (年 額)	生活科学部食生活科学科管理栄養士専攻	80,000 円
	生活科学部食生活科学科食物科学専攻	60,000 円
	生活科学部食生活科学科健康栄養専攻	70,000 円
	生活科学部生活環境学科	40,000 円
	生活科学部生活文化学科幼児保育専攻	40,000 円
4.教育充実費 (年 額)	230,000 円	
5.施設設備費 (年 額)	90,000 円	

第 45 条 授業料の納入期限は、前期分 4 月末日、後期分 10 月末日までとする。

第 46 条 授業料その他の学費は、出席の有無にかかわらず、学籍のある間は納めなければならない。ただし、休学期間中の授業料、実験実習費は免除することができる。この場合、次条本文の規定はこれを適用しない。

第 47 条 既納の学費は、いかなる理由でも返還しない。ただし、入学時の納入金に限り所定期間内に本人及び保証人の連署による「入学辞退及び納入金返還願」のあるものについては、入学金を差し引いた納入金を返還する。

第 8 章 教職員組織

第 48 条 本学に学長をおく。

- 2 学長は大学を統括し、これを代表する。
- 3 学長は、別に定める規程により選任する。

第 49 条 本学に副学長をおく。

- 2 副学長は、学長を補佐し、その業務の一部を担う。
- 3 副学長は、別に定める規程により選任する。
- 4 副学長は、学長に事故あるとき、又は学長が欠けたときは、学長の職務を行う。

第 50 条 本学に教授、准教授、講師、助教及び助手をおく。

- 2 講師を分けて専任と兼任とする。
- 3 教授、准教授、講師及び助教の任免は、教授会の議を経て理事会がこれを行う。

第 51 条 各学部に学部長をおく。

- 2 学部長は学長を補佐し、その学部を主管する。
- 3 学部長は、別に定める規程により選任する。

第 52 条 各学科、課程に主任をおき、教授の中から任命する。

- 2 主任に関する規程は、別に定める。
- 第 53 条 本学に教授会を設ける。
 - 2 教授会に関する規程は、別に定める。
- 第 54 条 教授会は、必要に応じ委員会を設けることができる。
 - 2 委員会に関する規程は、別に定める。
- 第 55 条 本学に事務職員その他必要な職員をおく。

第 9 章 賞 罰

- 第 56 条 在学中、人格、学術共に優秀な者を教授会の議を経て特待生とし、授業料その他を免除することがある。
- 第 57 条 学長は、学生が学則又は学内規定に違反し、学生の本分に反する行為があると認めるときは、教授会の議を経て懲戒を行うことができる。
 - 2 前項の懲戒は訓告、停学及び退学とし、退学は学生が次の各号の一に該当するときに限る。
 - (1) 性行不良で、改善の見込みがないと認められるとき
 - (2) 学力劣等で、成業の見込みがないと認められるとき
 - (3) 正当な理由なく出席常でないとき
 - (4) 学園の秩序を乱し、その他学生の本分に反したとき

第 10 章 科目等履修生・特別聴講学生・委託生・外国人留学生

- 第 58 条 本学の授業科目の修得を目的として願い出のあった者（以下、科目等履修生という。）については、授業に支障のない範囲において選考のうえ科目の履修を許可し、試験に合格した者に、第 19 条に定めるところにより単位を与えることがある。
 - 2 科目等履修生に関する規程は、別に定める。
- 第 59 条 本学の授業科目の聴講を希望する他大学又は短期大学等の学生があるときは、当該の大学又は短期大学等との協議に基づき所定の手続きを経て、特別聴講学生として入学を許可することがある。
 - 2 特別聴講学生に関する規程は、別に定める。
- 第 60 条 委託生として入学又は聴講を希望する者があるときは、その研修しようとする授業科目の教授者、学部長、学長協議のうえ許可するものとする。
 - 2 委託生に関する規程は、別に定める。
- 第 61 条 外国籍を持ち、教育を受ける目的をもって入国し、第 30 条第 4 号又は第 8 号に規定する要件を満たして入学を願い出た者は、選考のうえ外国人留学生として入学を許可することがある。
 - 2 外国人留学生の入学及び履修に関する規程は、別に定める。
 - 3 外国人留学生のために、外国人留学生特設科目として、別表第 10 を設ける。

- 4 前項の科目を履修し、単位を修得した場合には、共通教育科目の単位に代えることができる。

第 11 章 公 開 講 座

第 62 条 本学は、必要に応じ公開講座を開設する。

第 12 章 学 期 及 び 休 業 日

第 63 条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第 64 条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたるものとする。

第 65 条 学年を分けて、次の2学期とする。

前 期 4月1日から9月20日まで

後 期 9月21日から翌年3月31日まで

第 66 条 休業日は、次のとおりとする。

日 曜 日

国民の祝日に関する法律に規定する休日

本学創立記念日（5月7日）

春期休業日 3月21日から4月4日まで

夏期休業日 7月30日から9月20日まで

冬期休業日 12月21日から翌年1月7日まで

- 2 前項の規定にかかわらず、学長は臨時に休業日を設け、又は休業日を変更することができる。

第 13 章 図 書 館

第 67 条 本学に図書館を設ける。

- 2 図書館に関する規程は、別に定める。

第 14 章 学 生 寮

第 68 条 削除

- 2 削除

附 則

- 1 この改正学則は、昭和 61 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 2 章第 3 条及び第 4 条の規定にかかわらず、昭和 61 年度から昭和 74 年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

文 学 部			家 政 学 部			計
国 文 学 科	英 文 学 科	美学美術史 学 科	食 物 学 科		被 服 学 科	
			管理栄養士 専 攻	食物学専攻		
150 名	150 名	100 名	60 名	120 名	120 名	700 名

- 3 第 3 章第 6 条別表(2)家政学部授業科目（被服学科）及び第 7 章第 29 条の規定は、昭和 61 年度入学生から適用し、昭和 60 年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、昭和 62 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 章第 6 条別表(2)家政学部授業科目の食物学科基礎教育科目並びに専門教育科目は昭和 62 年度入学生から適用し、昭和 61 年度以前の入学生については従前の規定による。
- 3 第 5 章第 16 条及び第 7 章第 29 条の規定は昭和 62 年度入学生から適用し、昭和 61 年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、昭和 63 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 章第 5 条別表(1)文学部授業科目の外国語科目並びに英文学科専門教育科目は昭和 63 年度入学生から適用し、昭和 62 年度以前の入学生については従前の規定による。
- 3 第 7 章第 29 条の規定は、昭和 63 年度入学生から適用し、昭和 62 年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 章第 5 条別表(1)文学部授業科目の美学美術史学科専門教育科目は平成元年度入学生から適用し、昭和 63 年度以前の入学生については従前の規定による。
- 3 第 7 章第 29 条の規定は平成元年度入学生から適用し、昭和 63 年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 章第 5 条別表(1)文学部授業科目中、国文学科「中世近世文学史」、「漢字書法Ⅲ」及び英文学科「比較文化」については、平成 2 年度入学生から適用し、平成元年度以前の入学生については従前の規定による。

- 3 第3章第5条別表(2)家政学部授業科目並びに第3章第8条別表(3)教職課程授業科目は、平成2年度入学生から適用し、平成元年度以前の入学生については従前の規定による。
- 4 第7章第29条の規定は平成2年度入学生から適用し、平成元年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成3年4月1日から施行する。
- 2 第3章第5条別表(1)文学部授業科目の英文学科基礎教育科目及び専門教育科目、美学美術史学科専門教育科目、第3章第8条別表(7)博物館学芸員関係授業科目は、平成3年度入学生から適用し、平成2年度以前の入学生については従前の規定による。
- 3 第7章第29条の規定は、平成3年度入学生から適用し、平成2年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第5章第19条第2項の規定は、平成3年9月24日から適用する。
- 2 第7章第36条の規定は、平成4年度入学生から適用し、平成3年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 第21条及び第7条別表第1、第8条別表第2、第9条別表第3、第11条別表第7並びに第39条の規定については平成5年度入学生から適用し、平成4年度以前の入学生は従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成6年4月1日から施行する。
- 2 第7条別表第1、第8条別表第2、第9条別表第3並びに第39条の規定については平成6年度入学生から適用し、平成5年度以前の入学生は従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成7年4月1日から施行する。
- 2 第3条、第6条、第7条、第9条、第11条2項、第14条3項、第20条、第21条、第22条2項、第39条及び第7条別表1、第8条別表2、第9条別表3、第11条別表4、別表5、別表6、別表7の規定については平成7年度入学生から適用し、平成6年度以前の入学生については従前の規定による。ただし、生活科学部、食生活科学科管理栄養士専攻、食生活科学科食物科学専攻および生活環境学科の名称については平成7年度入学生から適用し、平成6年度以前の入学生については平成9年度までの間

は従前どおりとする。

- 3 第6条に規定する入学定員は、平成11年度までの間は次のとおりとする。

生活科学部			
食生活科学科		生活環境学科	生活文化学科
管理栄養士専攻	食物科学専攻		
40名	90名	90名	80名

附 則

- 1 この改正学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 第3章第7条別表第1文学部・生活科学部総合教育科目、第8条別表第2文学部専門科目国文学科、英文学科及び第9条別表第3生活科学部専門科目食生活科学科管理栄養士専攻・食物科学専攻については、平成8年度入学生から適用し、平成7年度入学以前の入学生については従前の規定による。
- 3 第5章第21条の規定のうち文学部及び生活科学部食生活科学科管理栄養士専攻については、平成8年度入学生から適用し、平成7年度入学生以前の入学生については、従前の規定による。
- 4 第7章第39条の規定については、平成8年度入学生から適用し、平成7年度入学以前の入学生については、従前の規定による。ただし、冷暖房費については、平成7年度入学以前の入学生にも適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 第4章第15条2項3項の規定については、平成8年度入学以前の入学生についても適用する。
- 3 第5章第21条の規定のうち生活科学部食生活科学科食物科学専攻、生活環境学科については、平成9年度入学生から適用し、平成8年度入学以前の入学生については従前の規定による。
- 4 第7章第39条の規定については、平成9年度入学生から適用し、平成8年度以前の入学生については従前の規定による。
- 5 第3章第8条別表第2文学部専門科目国文学科、美学美術史学科及び第9条別表第3生活科学部専門科目食生活科学科管理栄養士専攻・食物科学専攻、生活環境学科については、平成9年度入学生から適用し、平成8年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成10年4月1日から施行する。
- 2 第7章第39条の規定については、平成10年度入学生から適用し、平成9年度以前の

入学生については従前の規定による。

- 第3章第8条別表第2文学部専門科目美学美術史学科及び第9条別表第3生活科学部専門科目生活環境学科については、平成10年度入学生から適用し、平成9年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- この改正学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 第7章第39条の規定については、平成11年度入学生から適用し、平成10年度以前の入学生については従前の規定による。
- 第3章第9条別表第3生活科学部専門科目生活環境学科については、平成10年度入学生から適用し、平成9年度以前の入学生については従前の規定による。生活文化学科については、平成11年度入学生から適用し、平成10年度以前の入学生については従前の規定による。別表第6学校図書館司書教諭科目及び単位数については平成11年度から適用する。

附 則

- この改正学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 第5条及び第6条に規定する入学定員は、平成16年度までの間は次のとおりとする。

学 部・学 科		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	
文 学 部	国 文 学 科	145名	137名	130名	125名	120名	
	英 文 学 科	145名	137名	130名	125名	120名	
	美 学 美 術 史 学 科	100名	100名	100名	100名	100名	
生 活 科 学 部	食生活科学科	管理栄養士専攻	70名	70名	70名	70名	70名
		食物科学専攻	57名	57名	54名	51名	45名
	生 活 環 境 学 科	85名	83名	82名	77名	75名	
	生 活 文 化 学 科	80名	80名	80名	80名	80名	

- 第7章第39条の規定については、平成12年度入学生から適用し平成11年度以前の入学生については従前の規定による。
- 第3章第7条別表第1全学共通科目、別表第2文学部・生活科学部共通科目、第8条別表第3文学部専門科目国文学科、英文学科、美学美術史学科、第9条別表第4生活科学部専門科目食生活科学科管理栄養士専攻、食生活科学科食物科学専攻、生活環境学科及び生活文化学科については平成12年度入学生から適用し、平成11年度以前の入学生については従前の規定による。第11条別表第5教職課程科目、別表第8博物館学芸員科目及び単位数については、平成12年度入学生から適用し、平成11年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- この改正学則は、平成13年4月1日から施行する。

- 2 第3章第8条別表第3文学部専門科目美学美術史学科については平成13年度入学生から適用し、平成12年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成14年4月1日から施行する。
2 第6条に規定する入学定員は、平成16年度までの間は次のとおりとする。

	学 部 ・ 学 科	平成14年度	平成15年度	平成16年度	
生 活 科 学 部	食生活科学科	管理栄養士専攻	70名	70名	70名
		食物科学専攻	84名	81名	75名
	生 活 環 境 学 科	87名	82名	80名	
	生 活 文 化 学 科	85名	85名	85名	

- 3 第21条の規定については、平成14年度入学生から適用し、平成13年度以前の入学生については従前の規定による。
4 第39条の規定については、平成14年度入学生から適用し、平成13年度以前の入学生については従前の規定による。
5 第9条別表第4生活科学部専門科目食生活科学管理栄養士専攻、食生活科学科食物科学専攻については、平成14年度入学生から適用し、平成13年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成15年4月1日から施行する。
2 第3章第8条別表第3文学部専門科目美学美術史学科については平成15年度入学生から適用し、平成14年度以前の入学生については従前の規定による。
3 第3章第11条別表第8博物館学芸員関係授業科目については平成13年度入学生から適用し、平成12年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成16年4月1日から施行する。
2 第10条別表第4生活環境学科の授業科目のうち「消費生活学」については平成15年度入学生から適用し、平成14年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成17年4月1日から施行する。
2 第10条別表第4食生活科学科管理栄養士専攻及び食物科学専攻の授業科目のうち「毒性学」については平成14年度入学生から適用し、平成13年度以前の入学生については従前の規定による。
3 第10条別表第5人間社会学科の授業科目については、平成16年度入学生から適用する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 11 条第 2 項の規定のうち美学美術史学科については、平成 17 年度入学生から適用し、平成 16 年度以前の入学生については従前の規定による。
- 3 第 10 条別表第 3 美学美術史学科の授業科目のうち次の科目については、平成 15 年度入学生から適用し、平成 14 年度以前の入学生については従前の規定による。

アジアの美術 c	2	アジアの美術 d	2	デザイン史 a	2	デザイン史 b	2
身体文化論 a	2	身体文化論 b	2	絵画入門 a	1	絵画入門 b	1
絵画実習 a	2	絵画実習 b	2	絵画実習 c	2	絵画実習 d	2
デザイン入門 a	1	デザイン入門 b	1	デザイン実習 a	2	デザイン実習 b	2
デザイン実習 c	2	デザイン実習 d	1	デザイン実習 e	1	工芸実習 a	2
工芸実習 b	2	彫刻実習 a	2	彫刻実習 b	2		

- 4 第 10 条別表第 4 食生活科学科食物科学専攻の授業科目のうち「生理学」については平成 17 年度入学生から適用し、平成 16 年度以前の入学生については従前の規定による。
- 5 第 11 条別表第 6 教職課程授業科目及び単位数のうち美学美術史学科教育職員免許状に関わる科目については、美学美術史学科平成 17 年度入学生から適用し、平成 16 年度以前の入学生については従前の規定による。
- 6 第 11 条別表第 6 教職課程授業科目及び単位数のうち「教育原理」については、平成 17 年度入学生から適用し、平成 16 年度以前の入学生については従前の規定による。
- 7 第 11 条別表第 9 博物館学芸員関係授業科目については、平成 16 年度入学生から適用し、平成 15 年度以前の入学生については従前の規定による。
- 8 第 10 条別表第 1-1 文学部・生活科学部共通科目のうち「韓国語 a」「韓国語 b」については、平成 15 年度入学生から適用し、平成 14 年度以前の入学生については従前の規定による。
- 9 第 10 条別表第 1-2 人間社会学部総合教養科目のうち次の科目については、平成 16 年度入学生から適用する。

韓国語 A	1	韓国語 B	1	フランス語 A	1	フランス語 B	1
フランス語 C	1	フランス語 D	1	ドイツ語 A	1	ドイツ語 B	1
ドイツ語 C	1	ドイツ語 D	1				

附 則

- 1 この改正学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 10 条別表第 4 生活文化学科幼児保育専攻の授業科目のうち幼稚園教諭免許状に関わる科目については、生活文化学科保育士コース平成 17 年度入学生から適用する。
- 3 第 11 条第 2 項の規定のうち生活文化学科幼児保育専攻については、生活文化学科保育士コース平成 17 年度入学生から適用する。
- 4 第 10 条別表第 1-1 文学部・生活科学部共通科目のうち「韓国語会話 a」「韓国語会話 b」については平成 16 年度入学生から適用し、平成 15 年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 14 条別表第 1-2 第 5 人間社会学部総合教養科目のうち次の科目については、平成

18年度入学生から適用し、平成17年度以前の入学生については従前の規定による。

健康運動実習 2	1	健康体力科学演習 1	1	ヘルスプロモーション実践実習 2	1	レクリエーションスポーツ 1	1
----------	---	------------	---	------------------	---	----------------	---

- 3 平成18年度入学生及び平成19年度入学生については、第15条別表第3英文学科の授業科目から次の科目を削除する。

セミナー c	1	セミナー d	1	セミナー e	1	セミナー f	1
--------	---	--------	---	--------	---	--------	---

- 4 第15条別表第4食生活科学科食物科学専攻の授業科目のうち「健康運動論演習」については、平成19年度入学生から適用し、平成18年度以前の入学生については従前の規定による。

- 5 第15条別表第5人間社会学科の授業科目のうち次の科目については、平成17年度入学生から適用し、平成16年度以前の入学生については従前の規定による。

心理学研究法 2	2	社会調査方法論 2	2	社会調査実習 I 2	2	社会調査実習 II 2	2
認知心理学 2	2	社会科学データ分析 2	2	特別講義 B 2	2		

附 則

- 1 この改定学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 第15条別表第3美学美術史学科の授業科目のうち次の科目については、平成20年度入学生から適用し、平成19年度以前の入学生については従前の規定による。

西洋古代・中世美術 a	2	西洋古代・中世美術 b	2	西洋古代・中世美術 c	2	西洋古代・中世美術 d	2
西洋現代美術 a	2	西洋現代美術 b	2	絵画実習 e	2		

- 3 平成20年度入学生については、第15条別表第3美学美術史学科の授業科目から次の科目を削除する。

西洋古代美術 a	2	西洋古代美術 b	2	西洋中世美術 a	2	西洋中世美術 b	2
デザイン実習 e	1						

- 4 第16条別表第9博物館学芸員関係の授業科目のうち「文化財保存学 a」「文化財保存学 b」の単位数については、平成19年度入学生から適用し、平成18年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 第14条別表第1、第15条別表第3、別表第4、別表第6、第16条第2項の規程は、平成22年度入学生から適用し、平成21年度以前の入学生については、従前の規程による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 第26条、第44条の規程については、平成23年度入学生から適用し、平成22年度以前の入学生について従前の規程による。
- 3 第15条別表第4、及び第15条別表第5は、平成23年度入学生から適用し、平成22年度以前の入学生については、従前の規程による。
- 4 第16条別表第6教職課程授業科目については、平成22年度入学生から適用し、平成

- 2 1年度以前の入学生については従前の規程による。
- 5 第16条別表第7 図書館司書関係授業科目については、平成22年度入学生から適用し、平成21年度以前の入学生については従前の規程による。
- 6 第16条別表第9 博物館学芸員関係授業科目については、平成22年度入学生から適用し、平成21年度以前の入学生については従前の規程による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 第15条別表第4 生活文化学科幼児保育専攻の授業科目のうち、次の科目については、平成23年度入学生から適用し、平成22年度以前の入学生については従前の規程による。

道徳の指導法	講義	2	特別活動の指導法	講義	2
介護支援基礎論	講義	2	介護等体験	実習	1
教育実習指導(幼稚園)	演習	1	教育実習指導(小学校)	演習	1
教育実習 a(幼稚園)	実習	4	教育実習 b(幼稚園)	実習	2
教育実習 a(小学校)	実習	4	教育実習 b(小学校)	実習	2

- 3 平成23年度入学生については、第15条別表第4 生活文化学科幼児保育専攻の科目から次の科目を削除する。

道徳・特別活動の指導法	講義	2	教育実習指導	演習	1
教育実習	実習	4			

- 4 第16条別表第6 教職課程授業科目については、平成23年度入学生から適用し、平成22年度以前の入学生については従前の規程による。
- 5 第49条第1項、第2項及び第4項については、平成25年4月1日から適用する。
- 6 学長の職務の代理及び代行に関しては、平成24年度は従前の規程による。
- 7 平成19年4月11日制定の「学長の職務の代理及び代行に関する規程」は、平成25年3月31日をもって廃止とする。

附 則

- 1 この改正学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 第8条、第9条、第10条に規定する編入学定員(第3年次)は、平成25年度及び平成26年度については次のとおりとする。

文学部

	平成25年度	平成26年度
国文学科	13名	13名
英文学科	13名	13名
美学美術史学科	8名	8名

生活科学部

学 科	専 攻	平成 25 年度	平成 26 年度
食生活科学科	管理栄養士専攻	2 名	2 名
	食物科学専攻	2 名	2 名
	健康栄養専攻	—	—
生活環境学科		2 名	2 名
生活文化学科	生活文化専攻	2 名	2 名
	幼児保育専攻	2 名	2 名

人間社会学部

	平成 25 年度	平成 26 年度
人間社会学科	10 名	10 名
現代社会学科	10 名	10 名

- 3 第 19 条、第 26 条、第 44 条の規定については、平成 25 年度入学生より適用し、平成 24 年度以前の入学生については従前の規定による。
- 4 第 14 条別表第 1、第 15 条別表第 3、第 15 条別表第 4、第 15 条別表第 5、第 16 条別表第 6、第 16 条別表第 9 は、平成 25 年度入学生から適用し、平成 24 年度以前の入学生については従前の規定による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

別表第1

第14条別表第1 共通教育科目

必修科目			
授業科目	授業形態	単位数	備考
実践入門セミナー	演習	2	*
実践キャリアプランニング	講義	2	*
インテグレートッド・イングリッシュ	演習	2	*
情報リテラシー基礎 a	演習	1	*
選択科目			
情報リテラシー基礎 b	演習	1	*
キャリアデザイン	講義	2	
グローバル・キャリアデザイン	講義	2	
インターンシップ演習	演習	1	
インターンシップ	実習	1	
キャリア開発実践論	講義	2	
キャリア実践演習	演習	2	
国際理解とキャリア形成	講義	2	
伝統文化の理解と実践	演習	2	
女性と職業	講義	2	
リーディング・スキルズ	演習	1	
TOEICリーディング	演習	1	
リスニング・スキルズ	演習	1	
TOEICリスニング	演習	1	
スピーキング・スキルズ	演習	1	
ビジネス・イングリッシュ	演習	1	
フランス語 1 a	演習	1	
フランス語 1 b	演習	1	
ドイツ語 1 a	演習	1	
ドイツ語 1 b	演習	1	
中国語 1 a	演習	1	
中国語 1 b	演習	1	
コリア語 1 a	演習	1	
コリア語 1 b	演習	1	
フランス語 2 a	演習	1	
フランス語 2 b	演習	1	
ドイツ語 2 a	演習	1	
ドイツ語 2 b	演習	1	
中国語 2 a	演習	1	
中国語 2 b	演習	1	
コリア語 2 a	演習	1	

コリア語 2 b	演習	1	
海外語学研修 a	実習	2	
海外語学研修 b	実習	2	
海外語学研修 c	実習	2	
海外語学研修 d	実習	2	
情報リテラシー応用 a	演習	2	
情報リテラシー応用 b	演習	2	
情報リテラシー応用 c	演習	2	
情報リテラシー実践 a	演習	2	
情報リテラシー実践 b	演習	2	
情報リテラシー実践 c	演習	2	
実践プロジェクト	演習	2	
哲学入門 a	講義	2	
哲学入門 b	講義	2	
現代の哲学 a	講義	2	
現代の哲学 b	講義	2	
倫理学入門 a	講義	2	
倫理学入門 b	講義	2	
現代倫理学 a	講義	2	
現代倫理学 b	講義	2	
美学 a	講義	2	
美学 b	講義	2	
社会思想史 a	講義	2	
社会思想史 b	講義	2	
中国の思想 a	講義	2	
中国の思想 b	講義	2	
西洋思想史 a	講義	2	
西洋思想史 b	講義	2	
仏教思想史 a	講義	2	
仏教思想史 b	講義	2	
キリスト教概論 a	講義	2	
キリスト教概論 b	講義	2	
文学概論	講義	2	
日本の文学 a	講義	2	
日本の文学 b	講義	2	
日本の文学 c	講義	2	
日本の文学 d	講義	2	
フランス文学 a	講義	2	
フランス文学 b	講義	2	

ドイツ文学 a	講義	2	
ドイツ文学 b	講義	2	
児童文学論 a	講義	2	
児童文学論 b	講義	2	
比較文学 a	講義	2	
比較文学 b	講義	2	
女性と文学	講義	2	
比較文化論 a	講義	2	
比較文化論 b	講義	2	
生活文化論 a	講義	2	
生活文化論 b	講義	2	
出版文化論 a	講義	2	
出版文化論 b	講義	2	
食文化論	講義	2	
衣文化論	講義	2	
文化人類学 a	講義	2	
文化人類学 b	講義	2	
メディア論 a	講義	2	
メディア論 b	講義	2	
情報文化論 a	講義	2	
情報文化論 b	講義	2	
世界の美術	講義	2	
心理学概論	講義	2	
心理学 a	講義	2	
心理学 b	講義	2	
発達心理学 a	講義	2	
発達心理学 b	講義	2	
教育学 a	講義	2	
教育学 b	講義	2	
教育史 a	講義	2	
教育史 b	講義	2	
日本国憲法	講義	2	*
法学	講義	2	
法と生活	講義	2	
政治学 a	講義	2	
政治学 b	講義	2	
経済学 a	講義	2	
経済学 b	講義	2	
日本経済論 a	講義	2	
日本経済論 b	講義	2	
日本史 a	講義	2	

日本史 b	講義	2	
西洋史 a	講義	2	
西洋史 b	講義	2	
東洋史 a	講義	2	
東洋史 b	講義	2	
地理学	講義	2	
社会学 a	講義	2	
社会学 b	講義	2	
ジェンダー論 a	講義	2	
ジェンダー論 b	講義	2	
社会保障論	講義	2	
数学の世界	講義	2	
統計の世界	講義	2	
物理の世界	講義	2	
化学の世界 a	講義	2	
化学の世界 b	講義	2	
生物の世界	講義	2	
生命と環境	講義	2	
科学思想史	講義	2	
環境科学	講義	2	
環境と産業技術 a	講義	2	
環境と産業技術 b	講義	2	
くらしの人間工学	講義	2	
身体運動の科学 a	講義	2	*
身体運動の科学 b	講義	2	*
スポーツ文化論	講義	2	*
健康運動実習 a	実習	1	*
健康運動実習 b	実習	1	*
基礎スポーツ実習 a	実習	1	*
基礎スポーツ実習 b	実習	1	*
基礎スポーツ実習 c	実習	1	*
基礎スポーツ実習 d	実習	1	*
健康体力科学演習	演習	1	*
ヘルスプロモーション実践実習 a	実習	1	*
ヘルスプロモーション実践実習 b	実習	1	*
スポーツ基礎科学実習 a	実習	1	*
スポーツ基礎科学実習 b	実習	1	*
スポーツ健康科学実習	実習	1	*
スポーツ応用科学実習	実習	1	*
オープン講座 a		2	
オープン講座 b		2	

オープン講座 c		2	
オープン講座 d		2	
オープン講座 e		2	

別表第1-2 削除

別表第2 削除

*印：「保育士養成課程」 教養科目 10 単位
以上

別表第3

第15条別表第3 文学部専門科目 国文学科

必修科目			
授業科目	授業形態	単位数	備考
国語学概論 a	講義	2	
国語学概論 b	講義	2	
国文学概論 a	講義	2	
国文学概論 b	講義	2	
古典文学基礎講読 a	講義	2	
古典文学基礎講読 b	講義	2	
近代文学基礎講読 a	講義	2	
近代文学基礎講読 b	講義	2	
漢文学基礎講読 a	講義	2	
漢文学基礎講読 b	講義	2	
国語史 a	講義	2	
国語史 b	講義	2	
漢文学 a	講義	2	
漢文学 b	講義	2	
特殊演習 1	演習	1	
特殊演習 2	演習	1	
卒業論文		6	
選択科目			
国語学史基礎演習 1	演習	2	
国語学史基礎演習 2	演習	2	
国語学基礎演習 1	演習	2	
国語学基礎演習 2	演習	2	
上代文学基礎演習 1	演習	2	
上代文学基礎演習 2	演習	2	
中古文学基礎演習 1	演習	2	
中古文学基礎演習 2	演習	2	
中世文学基礎演習 1	演習	2	
中世文学基礎演習 2	演習	2	
近世文学基礎演習 1	演習	2	
近世文学基礎演習 2	演習	2	
近代文学基礎演習 1	演習	2	
近代文学基礎演習 2	演習	2	

上代中古文学史 a	講義	2	
上代中古文学史 b	講義	2	
中世近世文学史 a	講義	2	
中世近世文学史 b	講義	2	
近代現代文学史 a	講義	2	
近代現代文学史 b	講義	2	
日本文法論 a	講義	2	
日本文法論 b	講義	2	
日本語研究とコンピュータ a	講義	2	
日本語研究とコンピュータ b	講義	2	
日本語研究とコンピュータ c	講義	2	
日本語研究とコンピュータ d	講義	2	
国語表現法 a	演習	2	
国語表現法 b	演習	2	
世界の中の日本文学 a	講義	2	
世界の中の日本文学 b	講義	2	
世界の中の日本文学 c	講義	2	
世界の中の日本文学 d	講義	2	
比較文学論演習 a	演習	2	
比較文学論演習 b	演習	2	
比較文学論演習 c	演習	2	
比較文学論演習 d	演習	2	
書道史	講義	2	
書学概論	講義	2	
国語学研究 a	講義	2	
国語学研究 b	講義	2	
国語学研究 c	講義	2	
国語学研究 d	講義	2	
国語学研究 e	講義	2	
国語学研究 f	講義	2	
国語学研究 g	講義	2	
国語学研究 h	講義	2	
上代中古文学研究 a	講義	2	
上代中古文学研究 b	講義	2	
上代中古文学研究 c	講義	2	
上代中古文学研究 d	講義	2	

上代中古文学研究 e	講義	2	
上代中古文学研究 f	講義	2	
上代中古文学研究 g	講義	2	
上代中古文学研究 h	講義	2	
中世近世文学研究 a	講義	2	
中世近世文学研究 b	講義	2	
中世近世文学研究 c	講義	2	
中世近世文学研究 d	講義	2	
中世近世文学研究 e	講義	2	
中世近世文学研究 f	講義	2	
中世近世文学研究 g	講義	2	
中世近世文学研究 h	講義	2	
近代現代文学研究 a	講義	2	
近代現代文学研究 b	講義	2	
近代現代文学研究 c	講義	2	
近代現代文学研究 d	講義	2	
近代現代文学研究 e	講義	2	
近代現代文学研究 f	講義	2	
近代現代文学研究 g	講義	2	
近代現代文学研究 h	講義	2	
中国文学哲学研究 a	講義	2	
中国文学哲学研究 b	講義	2	
中国文学哲学研究 c	講義	2	
中国文学哲学研究 d	講義	2	
国語学演習 a 1	演習	2	
国語学演習 a 2	演習	2	
国語学演習 b 1	演習	2	
国語学演習 b 2	演習	2	
国語学演習 c 1	演習	2	
国語学演習 c 2	演習	2	
国語学演習 d 1	演習	2	
国語学演習 d 2	演習	2	
上代中古文学演習 a 1	演習	2	
上代中古文学演習 a 2	演習	2	
上代中古文学演習 b 1	演習	2	
上代中古文学演習 b 2	演習	2	
上代中古文学演習 c 1	演習	2	
上代中古文学演習 c 2	演習	2	
上代中古文学演習 d 1	演習	2	

上代中古文学演習 d 2	演習	2	
上代中古文学演習 e 1	演習	2	
上代中古文学演習 e 2	演習	2	
上代中古文学演習 f 1	演習	2	
上代中古文学演習 f 2	演習	2	
中世近世文学演習 a 1	演習	2	
中世近世文学演習 a 2	演習	2	
中世近世文学演習 b 1	演習	2	
中世近世文学演習 b 2	演習	2	
中世近世文学演習 c 1	演習	2	
中世近世文学演習 c 2	演習	2	
中世近世文学演習 d 1	演習	2	
中世近世文学演習 d 2	演習	2	
中世近世文学演習 e 1	演習	2	
中世近世文学演習 e 2	演習	2	
中世近世文学演習 f 1	演習	2	
中世近世文学演習 f 2	演習	2	
近代現代文学演習 a 1	演習	2	
近代現代文学演習 a 2	演習	2	
近代現代文学演習 b 1	演習	2	
近代現代文学演習 b 2	演習	2	
近代現代文学演習 c 1	演習	2	
近代現代文学演習 c 2	演習	2	
近代現代文学演習 d 1	演習	2	
近代現代文学演習 d 2	演習	2	
近代現代文学演習 e 1	演習	2	
近代現代文学演習 e 2	演習	2	
近代現代文学演習 f 1	演習	2	
近代現代文学演習 f 2	演習	2	
中国文学哲学演習 a 1	演習	2	
中国文学哲学演習 a 2	演習	2	
中国文学哲学演習 b 1	演習	2	
中国文学哲学演習 b 2	演習	2	
中国文学哲学演習 c 1	演習	2	
中国文学哲学演習 c 2	演習	2	
中国文学哲学演習 d 1	演習	2	
中国文学哲学演習 d 2	演習	2	
日本語教育学演習 a 1	演習	2	
日本語教育学演習 a 2	演習	2	

日本語教育学演習 b 1	演習	2	
日本語教育学演習 b 2	演習	2	
日 本 事 情	講義	2	
日本語のバリエーション	講義	2	
第二言語習得研究	講義	2	
日本語教授法—初級—	講義	2	
日本語教授法—中級—	講義	2	
日本語教授法演習 a	演習	2	
日本語教授法演習 b	演習	2	
日本語教育文法—初級—	講義	2	

日本語教育文法—中級—	講義	2	
日 本 語 の 音 声	講義	2	
漢 字 書 法 1	演習	1	
漢 字 書 法 2	演習	1	
実 用 書 法 a	演習	1	
実 用 書 法 b	演習	1	
仮 名 書 法 1	演習	1	
仮 名 書 法 2	演習	1	
書 芸 実 習 a	演習	1	
書 芸 実 習 b	演習	1	

別表第3

第15条別表第3 文学部専門科目 英文学科

必修科目			
授業科目	授業形態	単位数	備考
ベーシック・イングリッシュ a	演習	2	
ベーシック・イングリッシュ b	演習	2	
オーラル・イングリッシュ a	演習	1	
オーラル・イングリッシュ b	演習	1	
英文入門セミナー	演習	2	
パラグラフ・ライティング a	演習	2	
パラグラフ・ライティング b	演習	2	
インテンシヴ・リーディング a	演習	1	
インテンシヴ・リーディング b	演習	1	
イギリス文学史 a	講義	2	
イギリス文学史 b	講義	2	
アメリカ文学史 a	講義	2	
アメリカ文学史 b	講義	2	
英語学概論 a	講義	2	
英語学概論 b	講義	2	
プレセミナー	演習	2	
卒論セミナー a	演習	1	
卒論セミナー b	演習	1	
卒業論文		6	
選択科目			
イギリスの文化と社会	講義	2	
アメリカの文化と社会	講義	2	
特別講義	講義	2	
多読演習	演習	2	
児童英語演習	演習	2	
英語圏の詩	講義	2	
英語圏の演劇	講義	2	
女性と英語圏文学 a	講義	2	
女性と英語圏文学 b	講義	2	
イギリス文学・文化講義 a	講義	2	
イギリス文学・文化講義 b	講義	2	
アメリカ文学・文化講義 a	講義	2	
アメリカ文学・文化講義 b	講義	2	

女性と言語学	講義	2	
英語音声学	講義	2	
コミュニケーション英語 a	演習	2	
コミュニケーション英語 b	演習	2	
コミュニケーション英語 c	演習	2	
コミュニケーション英語 d	演習	2	
時事英語演習	演習	2	
翻訳演習	演習	2	
イギリス文学・文化講義 c	講義	2	
イギリス文学・文化講義 d	講義	2	
アメリカ文学・文化講義 c	講義	2	
アメリカ文学・文化講義 d	講義	2	
英語教育学講義	講義	2	
社会言語学講義	講義	2	
英語史 a	講義	2	
英語史 b	講義	2	
西洋古典入門	講義	2	
西洋古典研究	講義	2	
コミュニケーション英語 e	演習	2	
コミュニケーション英語 f	演習	2	
コミュニケーション英語 g	演習	2	
コミュニケーション英語 h	演習	2	
中世イギリス文学・文化演習 a	演習	2	
中世イギリス文学・文化演習 b	演習	2	
中世イギリス文学・文化演習 c	演習	2	
中世イギリス文学・文化演習 d	演習	2	
近代イギリス文学・文化演習 a	演習	2	
近代イギリス文学・文化演習 b	演習	2	
近代イギリス文学・文化演習 c	演習	2	
近代イギリス文学・文化演習 d	演習	2	
現代イギリス文学・文化演習 a	演習	2	
現代イギリス文学・文化演習 b	演習	2	
現代イギリス文学・文化演習 c	演習	2	
現代イギリス文学・文化演習 d	演習	2	
近代アメリカ文学・文化演習 a	演習	2	
近代アメリカ文学・文化演習 b	演習	2	
近代アメリカ文学・文化演習 c	演習	2	

近代アメリカ文学・文化演習 d	演習	2	
現代アメリカ文学・文化演習 a	演習	2	
現代アメリカ文学・文化演習 b	演習	2	
現代アメリカ文学・文化演習 c	演習	2	
現代アメリカ文学・文化演習 d	演習	2	
英語学演習 a	演習	2	
英語学演習 b	演習	2	
英語学演習 c	演習	2	
英語学演習 d	演習	2	
中世イギリス文学・文化演習 e	演習	2	
中世イギリス文学・文化演習 f	演習	2	

近代イギリス文学・文化演習 e	演習	2	
近代イギリス文学・文化演習 f	演習	2	
現代イギリス文学・文化演習 e	演習	2	
現代イギリス文学・文化演習 f	演習	2	
近代アメリカ文学・文化演習 e	演習	2	
近代アメリカ文学・文化演習 f	演習	2	
現代アメリカ文学・文化演習 e	演習	2	
現代アメリカ文学・文化演習 f	演習	2	
英語学演習 e	演習	2	
英語学演習 f	演習	2	

別表第3

第15条別表第3 文学部専門科目 美学美術史学科

必修科目			
授業科目	授業形態	単位数	備考
日本美術史入門 a	講義	2	
日本近代美術史入門 a	講義	2	
中国美術史入門 a	講義	2	
仏教美術史入門 a	講義	2	
西洋美術史入門 a	講義	2	
西洋近代美術史入門 a	講義	2	
美学入門 a	講義	2	
卒論ゼミ a	演習	1	
卒論ゼミ b	演習	1	
卒業論文		6	
選択科目			
日本美術史入門 b	講義	2	
日本近代美術史入門 b	講義	2	
中国美術史入門 b	講義	2	
仏教美術史入門 b	講義	2	
西洋美術史入門 b	講義	2	
西洋近代美術史入門 b	講義	2	
美学入門 b	講義	2	
基礎演習	演習	2	
日本美術史特講 a	講義	2	
日本美術史特講 b	講義	2	
日本美術史特講 c	講義	2	
日本美術史特講 d	講義	2	
日本近代美術史特講 a	講義	2	
日本近代美術史特講 b	講義	2	
日本近代美術史特講 c	講義	2	
日本近代美術史特講 d	講義	2	
中国美術史特講 a	講義	2	
中国美術史特講 b	講義	2	
中国美術史特講 c	講義	2	
中国美術史特講 d	講義	2	
仏教美術史特講 a	講義	2	

仏教美術史特講 b	講義	2	
仏教美術史特講 c	講義	2	
仏教美術史特講 d	講義	2	
西洋美術史特講 a	講義	2	
西洋美術史特講 b	講義	2	
西洋美術史特講 c	講義	2	
西洋美術史特講 d	講義	2	
西洋近代美術史特講 a	講義	2	
西洋近代美術史特講 b	講義	2	
西洋近代美術史特講 c	講義	2	
西洋近代美術史特講 d	講義	2	
美学特講 a	講義	2	
美学特講 b	講義	2	
美学特講 c	講義	2	
美学特講 d	講義	2	
日本の美術 a	講義	2	
日本の美術 b	講義	2	
日本の美術 c	講義	2	
日本の美術 d	講義	2	
東洋の美術 a	講義	2	
東洋の美術 b	講義	2	
東洋の美術 c	講義	2	
東洋の美術 d	講義	2	
西洋の美術 a	講義	2	
西洋の美術 b	講義	2	
西洋の美術 c	講義	2	
西洋の美術 d	講義	2	
美術と社会 a	講義	2	
美術と社会 b	講義	2	
美術と社会 c	講義	2	
美術と社会 d	講義	2	
民俗芸能 a	講義	2	
民俗芸能 b	講義	2	
民俗学	講義	2	
芸能文化史	講義	2	
デザイン史	講義	2	

デザイン論	講義	2	
身体文化論	講義	2	
メディア芸術論	講義	2	
現代美術論	講義	2	
世界の美術 a	講義	2	
世界の美術 b	講義	2	
アートマネジメント論	講義	2	
アートコミュニケーション論	講義	2	
思想史研究 a	講義	2	
思想史研究 b	講義	2	
文献研究 a	演習	2	
文献研究 b	演習	2	
文献研究 c	演習	2	
文献研究 d	演習	2	
文献研究 e	演習	2	
文献研究 f	演習	2	
美術史実地研究 a	実習	1	
美術史実地研究 b	実習	1	
美術史実地研究 c	実習	1	
日本美術史演習 a	演習	2	
日本美術史演習 b	演習	2	
日本近代美術史演習 a	演習	2	
日本近代美術史演習 b	演習	2	
中国美術史演習 a	演習	2	
中国美術史演習 b	演習	2	

仏教美術史演習 a	演習	2	
仏教美術史演習 b	演習	2	
西洋美術史演習 a	演習	2	
西洋美術史演習 b	演習	2	
西洋近代美術史演習 a	演習	2	
西洋近代美術史演習 b	演習	2	
美学演習 a	演習	2	
美学演習 b	演習	2	
絵画入門 a	実習	1	
絵画入門 b	実習	1	
絵画実習 a	実習	2	
絵画実習 b	実習	2	
絵画実習 c	実習	2	
絵画実習 d	実習	2	
絵画実習 e	実習	2	
デザイン入門 a	実習	1	
デザイン入門 b	実習	1	
デザイン実習 a	実習	2	
デザイン実習 b	実習	2	
デザイン実習 c	実習	2	
デザイン実習 d	実習	2	
工芸実習 a	実習	2	
工芸実習 b	実習	2	
彫刻実習 a	実習	2	
彫刻実習 b	実習	2	

別表第4

第15条別表第4 生活科学部専門科目 食生活科学科管理栄養士専攻

規則等規定科目	授業科目	授業形態	単位数		備考	
			必修	選択		
専門基礎分野	社会・環境と健康	公衆衛生学 a	講義	2		** a
		公衆衛生学 b	講義	2		** a
		健康管理論	講義	2		** a
		栄養疫学実習	実習	1		
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学 a	講義	2		** b
		解剖生理学 b	講義	2		** b
		栄養生理学	講義	2		
		生化学 a	講義	2		** b
		生化学 b	講義	2		** b
		臨床医学概論	講義	2		
		感染と防御	講義	2		
		解剖生理学実験	実験	1		** b
	食べ物と健康	食品学 a	講義	2		** c
		食品学 b	講義	2		** c
		調理学	講義	2		** f
		食品機能論	講義	2		** c
		食品加工学 a	講義	2		** c
		食品衛生学 a	講義	2		** c
		食品学実験 a	実験	1		
		食品衛生学実験	実験	1		** c
		食品加工学実習	実習	1		** c
		調理学実験	実験	1		** f
		基礎調理 1	実習	1		** f
基礎調理 2		実習	1			
専門分野	基礎栄養学	基礎栄養学	講義	2		** d
		基礎栄養学実習	実習	1		
	応用栄養学	栄養マネジメント論	講義	2		
		ライフステージ栄養学 a	講義	2		** d
		ライフステージ栄養学 b	講義	2		** d
		栄養マネジメント実習	実習	1		** e
		ライフステージ栄養学実習	実習	1		** e
	栄養教育論	栄養教育総論	講義	2		
栄養教育各論 a		講義	2		** e	

		栄養教育各論 b	講義	2		** e
		栄養教育論実習 a	実習	1		** e
		栄養教育論実習 b	実習	1		** e
	臨床栄養学	臨床栄養学 a	講義	2		** d
		臨床栄養学 b	講義	2		** d
		臨床栄養管理学総論	講義	2		
		臨床栄養管理学各論	講義	2		
		臨床栄養学実習 a	実習	1		** d
		臨床栄養管理実習	実習	1		** d
	公衆栄養学	公衆栄養学 a	講義	2		** e
		公衆栄養学 b	講義	2		** e
		公衆栄養学実習 a	実習	1		** e
	給食経営管理論	給食経営管理 a	講義	2		** f
		給食経営管理 b	講義	2		** f
		給食マネジメント実習	実習	2		** f
	総合演習 (管理栄養士国家 試験受験資格 4単位必修)	総合演習 a	演習	1		
		総合演習 b	演習	1		
		総合演習 c	演習		1	
		総合演習 d	演習		1	
	臨地実習	校外給食実習	臨地実習	1		** f
		臨床栄養学実習 b	臨地実習	2		** d
(選択必修1単位)	臨地実習 (1単位必修)	臨床栄養学実習 c	臨地実習		1	* d
		公衆栄養学実習 b	臨地実習		1	* e
	食べ物と健康 (1単位必修)	調理学実習 a	実習		1	
		調理学実習 b	実習		1	
その他の科目 (選択科目)		微生物学	講義		2	
		バイオテクノロジー概論	講義		2	
		基礎無機化学	講義		2	
		基礎有機化学	講義		2	
		食品学実験 b	実験		1	
		食品分析学	講義		2	
		食品加工学 b	講義		2	
		毒性学	講義		2	
		食品衛生学 b	講義		2	
		食品物性論	講義		2	
		商業空間デザイン	講義		2	
		食事摂取基準論	講義		2	
		社会福祉概論	講義		2	

高齢者福祉概論	講義		2	
スポーツ栄養学 a	講義		2	
スポーツ栄養学 b	講義		2	
特別講義 a	演習		1	
特別講義 b	演習		1	
特別講義 c	演習		1	
特別講義 d	演習		1	
卒業論文			6	

※1 管理栄養士専攻の学級数（1学級50人以下）は2学級とする。

※2 栄養士資格取得に必要な単位

※※印：「栄養士養成課程」必修科目 66単位

※印：「栄養士養成課程」選択必修科目 1単位以上

a～f は栄養士法施行規則に定める教育内容

a：社会生活と健康

b：人体の構造と機能

c：食品と衛生

d：栄養と健康

e：栄養の指導

f：給食の運営

別表第4

第15条別表第4 生活科学部専門科目 食生活科学科食物科学専攻

必修科目			
授業科目	授業形態	単位数	備考
フードコーディネート論	講義	2	
フードマネジメント論	講義	2	
フードスペシャリスト論	講義	2	
食生活教育論	講義	2	
基礎栄養学	講義	2	
栄養生理学	講義	2	
生化学 a	講義	2	
生化学 b	講義	2	
ライフステージ栄養学 a	講義	2	
ライフステージ栄養学 b	講義	2	
公衆栄養学 a	講義	2	
食品学 a	講義	2	
食品学 b	講義	2	
食品機能論	講義	2	
食品学各論	講義	2	
食品分析学	講義	2	
食品加工学 a	講義	2	
食品加工学 b	講義	2	
調理学 a	講義	2	
調理学 b	講義	2	
調理学実験 a	実験	1	
基礎調理 1	実習	1	
基礎調理 2	実習	1	
食品衛生学 a	講義	2	
食品衛生学 b	講義	2	
感染と防御	講義	2	
基礎無機化学	講義	2	
基礎有機化学	講義	2	
卒業論文		6	
選択科目			
テーブルマネジメント	演習	1	
食品学実験 a	実験	1	

食品学実験 b	実験	1	
食品加工学実習	実習	1	
食品鑑別論	講義	2	
食品物性論	講義	2	
調理学実験 b	実験	1	
調理学実習 a	実習	1	
調理学実習 b	実習	1	
調理学実習 c	実習	1	
公衆衛生学 a	講義	2	
公衆衛生学 b	講義	2	
食品衛生学実験	実験	1	
毒性学	講義	2	
学校健康教育論	講義	2	
微生物学	講義	2	
食商商品学	講義	2	
フードマーケティング論	講義	2	
分子生物学	講義	2	
バイオテクノロジー概論	講義	2	
調理学及び実習	実習	2	
住居学	講義	2	
衣料学	講義	2	
衣料学演習	演習	2	
衣服製作実習 a	実習	1	
衣服製作実習 b	実習	1	
家庭経営学	講義	2	
商業空間デザイン	講義	2	
理化学実験	実験	1	
スポーツと健康科学 a	講義	2	
スポーツと健康科学 b	講義	2	
スポーツ医科学実習	実習	1	
生活学原論	講義	2	
社会福祉概論	講義	2	
高齢者福祉概論	講義	2	
家族関係論	講義	2	
保育学	講義	2	
育児学	講義	2	

看	護	学	講義	2	
家	庭	工	学	講義	2

別表第4

第15条別表第4 生活科学部専門科目 食生活科学科健康栄養専攻

規則等規定科目	授業科目	授業形態	単位数		備考	
			必修	選択		
専 門 科 目	社会生活と健康	公衆衛生学 a	講義	2		*
		社会と福祉	講義	2		*
	人体の構造と機能	解剖生理学 a	講義	2		*
		人体の構造と疾病	講義	2		*
		生化学 a	講義	2		*
		生化学 b	講義	2		*
		解剖生理学実験	実験	1		*
		栄養生化学実験	実験	1		*
	食品と衛生	食品学 a	講義	2		*
		食品学 b	講義	2		*
		食品学実験 a	実験	1		*
		食品衛生学 a	講義	2		*
		食品衛生学実験	実験	1		*
	栄養と健康	基礎栄養学	講義	2		*
		食事摂取基準論	講義	2		*
		ライフステージ栄養学 a	講義	2		*
		ライフステージ栄養学 b	講義	2		*
		ライフステージ栄養学実習	実習	1		*
		臨床栄養学 a	講義	2		*
		臨床栄養学 b	講義	2		*
		臨床栄養学実習 a	実習	1		*
	臨床栄養学実習 b	実習	1		*	
	栄養の指導	栄養指導論 a	講義	2		*
		栄養指導論 b	講義	2		*
		公衆栄養学 a	講義	2		*
		栄養指導実習 a	実習	1		*
		栄養指導実習 b	実習	1		*
	給食の運営	調理学	講義	2		*
		給食計画論	講義	2		*
		給食実務論	講義	2		*
基礎調理		実習	2		*	
給食実務学内実習		実習	2		*	
給食実務校外実習		実習	2		*	

健康 栄養 科目	食計画群	献立学	講義	2		
		食事計画演習	演習	1		
		応用調理	実習	2		
	食育群	食文化と食育	講義		2	
		ライフステージと食育	講義		2	
		食育と調理	実習		1	
		食のリスク管理	講義		2	
	健康支援群	スポーツと健康科学 a	講義		2	
		スポーツと健康科学 b	講義		2	
		スポーツ栄養学 a	講義		2	
		スポーツ栄養学 b	講義		2	
		スポーツ医科学実習	実習		1	
	レベルアップ群	解剖生理学 b	講義		2	
		食品機能論	講義		2	
		臨床栄養管理学	講義		2	
		公衆栄養学 b	講義		2	
	関連科目	微生物学	講義		2	
		バイオテクノロジー概論	講義		2	
		基礎無機化学	講義		2	
		基礎有機化学	講義		2	
分子生物学		講義		2		
理化学実験		実験		1		
食品加工学 a		講義		2		
食品加工学 b		講義		2		
食品加工学実習		実習		1		
食品衛生学 b		講義		2		
毒性学		講義		2		
栄養生理学		講義		2		
食と美容		講義		2		
卒業論文				6		

※1 栄養士資格取得に必要な単位

*印：「栄養士養成課程」必修科目 57 単位

別表第4

第15条別表第4 生活科学部専門科目 生活環境学科

必修科目							
授業科目	授業形態	単位数	備考				
生活環境学演習	演習	2		テキスタイル管理実験	実験	2	
生活環境学セミナー	演習	2		染色加工学	講義	2	
卒業研究		6		被服衛生学	講義	2	
選択科目							
基礎演習 a	演習	2		アパレルデザイン基礎実験	実験	2	
基礎演習 b	演習	2		アパレルデザイン基礎	講義	2	
基礎演習 c	演習	2		アパレル生産	講義	2	
基礎演習 d	演習	2		パターン設計論	講義	2	
デザイン基礎演習 a	演習	2		アパレルデザイン実習 a	実習	2	
デザイン基礎演習 b	演習	2		アパレルデザイン実習 b	実習	2	
色彩学	講義	2		アパレルCAD	演習	1	
色彩設計演習 a	演習	2		アパレルデザイン総合実習	実習	2	
色彩設計演習 b	演習	2		伝統衣服実習	実習	2	
生理学	講義	2		ファッションデザイン論	講義	2	
統計の基礎	講義	2		ファッショングラフィック演習	演習	1	
統計の応用	講義	2		ファッションビジネスの世界	講義	2	
生活環境科学	講義	2		ファッション文化論	講義	2	
デザイン史	講義	2		ファッション企画論	講義	2	
消費生活学	講義	2		ファッションビジネス論	講義	2	
マーケティング論	講義	2		ファッションビジネス演習	演習	2	
消費科学	講義	2		衣料管理実習	実習	1	
情報環境論	講義	2		プロダクトデザイン論	講義	2	
情報通信ネットワーク概論	講義	2		プロダクトデザイン演習	演習	2	
情報と職業	講義	2		基礎造形論	講義	2	
コンピュータとプログラミング演習	演習	2		プロダクトアメニティ演習	演習	2	
ICT基礎演習	演習	2		情報アメニティ論	講義	2	
繊維高分子材料学	講義	2		ユニバーサルデザイン論	講義	2	
繊維高分子材料実験	実験	2		工業デザイン概論	講義	2	
テキスタイル材料学	講義	2		生活機器設計演習	演習	2	
テキスタイル材料実験	実験	2		マルチメディアデザイン演習	演習	2	
機能材料学	講義	2		感性と生活情報システム	講義	2	
テキスタイル管理学	講義	2		人間工学	講義	2	
				人間工学実験	実験	2	
				生活気候学	講義	2	
				生理人類学	講義	2	
				生理人類学実験	実験	2	
				生活材料学	講義	2	

インテリアデザイン論	講義	2	
インテリアデザイン演習	演習	2	
インテリアグラフィック演習	演習	1	
インテリアコーディネート論	講義	2	
インテリアコーディネート演習	演習	2	
建築概論	講義	2	
住居学	講義	2	
住居デザイン論	講義	2	
住環境デザイン論	講義	2	
建築デザイン論	講義	2	
生活空間計画	講義	2	
設計製図基礎	演習	2	
建築・インテリアCAD	演習	1	
生活空間設計製図1	演習	2	
生活空間設計製図2	演習	2	
生活空間設計製図3	演習	2	
建築構造	講義	2	
建築施工	講義	2	
建築・インテリア構法	講義	2	
材料力学	講義	2	
住環境・設備学	講義	2	

福祉住環境論	講義	2	
環境心理学	講義	2	
建築法規	講義	2	
デザインワークショップ	演習	2	
調理学及び実習	実習	2	
栄養学	講義	2	
食品学	講義	2	
衣料学	講義	2	
衣料学演習	演習	2	
衣服製作実習a	実習	1	
衣服製作実習b	実習	1	
衣服製作実習c	実習	2	
生活学原論	講義	2	
生活経営論	講義	2	
家族関係論	講義	2	
保育学	講義	2	
育児学	講義	2	
看護学	講義	2	
家庭工学	講義	2	

別表第4

第15条別表第4 生活科学部専門科目 生活文化学科生活文化専攻

必修科目			
授業科目	授業形態	単位数	備考
生活文化学概論	講義	2	
生活文化史1	講義	2	
生活文化史2	講義	2	
生活文化論演習	演習	2	
卒業論文	演習	6	
選択科目			
ネットワーク社会論	講義	2	
情報文化概論a	講義	2	
情報文化概論b	講義	2	
環境文化論1	講義	2	
環境文化論2	講義	2	
表象文化論	講義	2	
女性社会論a	講義	2	
女性社会論b	講義	2	
女性社会論演習a	演習	2	
女性社会論演習b	演習	2	
メディアアート論1	講義	2	
メディアアート論2	講義	2	
生活経済論a	講義	2	
生活経済論b	講義	2	
生活経済論演習a	演習	2	
生活経済論演習b	演習	2	
メディア技術論	演習	2	
メディア技術論演習a	演習	2	
メディア技術論演習b	演習	2	
コミュニケーション論	講義	2	
レジャー社会論1	講義	2	
レジャー社会論2	講義	2	
社会責任論	講義	2	
地球環境論a	講義	2	
地球環境論b	講義	2	
メディア経営論a	講義	2	

メディア経営論b	講義	2	
環境技術論a	講義	2	
環境技術論b	講義	2	
環境マーケティング論a	講義	2	
環境マーケティング論b	講義	2	
環境マーケティング論演習a	演習	2	
環境マーケティング論演習b	演習	2	
地域経営論a	講義	2	
地域経営論b	講義	2	
地域経営論演習a	演習	2	
地域経営論演習b	演習	2	
メディア経営論演習a	演習	2	
メディア経営論演習b	演習	2	
環境技術論演習a	演習	2	
環境技術論演習b	演習	2	
環境会計学	講義	2	
映像制作技術	演習	2	
ネットワーク技術論1	講義	2	
ネットワーク技術論2	講義	2	
原書講読a	演習	2	
原書講読b	演習	2	
心理測定研究法1	演習	2	
心理測定研究法2	演習	2	
生活文化史演習1	演習	2	
生活文化史演習2	演習	2	
比較生活文化論1	講義	2	
比較生活文化論2	講義	2	
心理学基礎実験1	演習	2	
心理学基礎実験2	演習	2	
教育学概論	講義	2	
教育制度論	講義	2	
生涯発達心理学a	講義	2	
生涯発達心理学b	講義	2	
健康科学論	講義	2	
保育原理1	講義	2	
保育原理2	講義	2	

教育学演習 a	演習	2	
教育学演習 b	演習	2	
生涯発達心理学演習 a	演習	2	
生涯発達心理学演習 b	演習	2	
造形デザイン論 1	講義	2	
造形デザイン論 2	講義	2	
社会福祉論	講義	2	
児童家庭福祉論	講義	2	
相談援助	演習	1	
学習心理学序説	講義	2	
教育心理学	講義	2	
脳と心	講義	2	
生活装備論 1	講義	2	
生活装備論 2	講義	2	
生活装備論演習 1	演習	2	
生活装備論演習 2	演習	2	
家族社会心理学 1	講義	2	
家族社会心理学 2	講義	2	

臨床心理学概論	講義	2	
家族臨床心理学 1	講義	2	
家族臨床心理学 2	講義	2	
子ども理解とカウンセリング	講義	2	
家庭支援論	講義	2	
家庭経営論	講義	2	
家族関係論	講義	2	
衣料学	講義	2	
衣料学演習	演習	2	
衣服製作実習 b	実習	1	
衣服製作実習 c	実習	2	
栄養学	講義	2	
食品学	講義	2	
調理学及び実習	実習	2	
保育学	講義	2	
育児学	講義	2	
看護学	講義	2	
家庭工学	講義	2	

別表第4

第15条別表第4 生活科学部専門科目 生活文化学科幼児保育専攻

必修科目			
授業科目	授業形態	単位数	備考
生活文化学概論	講義	2	
生活文化史1	講義	2	
生活文化史2	講義	2	
生活文化論演習	演習	2	
卒業論文	演習	6	
選択科目			
保育原理1	講義	2	**
保育原理2	講義	2	*
教育学概論	講義	2	**
教育制度論	講義	2	*
教育学演習a	演習	2	
教育学演習b	演習	2	
教育思想史	講義	2	*
保育者論	講義	2	**
教職論	講義	2	
生涯発達心理学a	講義	2	**
生涯発達心理学b	講義	2	*
生涯発達心理学演習a	演習	2	**
生涯発達心理学演習b	演習	2	*
学習心理学序説	講義	2	
教育心理学	講義	2	*
子どもの保健1a	講義	2	**
子どもの保健1b	講義	2	**
子どもの保健2	演習	1	**
児童家庭福祉論	講義	2	**
社会福祉論	講義	2	**
社会的養護	講義	2	**
家庭支援論	講義	2	**
保育表現技術a(音楽)	演習	1	**
保育表現技術b(図画工作)	演習	1	**
保育表現技術c(体育)	演習	1	**
保育表現技術d(言語)	演習	1	**
保育内容a(総論)	演習	1	**
保育内容b(健康)	演習	1	**
保育内容c(人間関係)	演習	1	**
保育内容d(ことば)	演習	1	**

保育内容e(環境)	演習	1	**
保育内容f(表現)	演習	1	**
相談援助	演習	1	**
社会的養護内容	演習	1	**
保育相談支援	演習	1	**
保育方法論	講義	2	
乳児保育	演習	2	**
子どもの食と栄養	演習	2	**
障害児保育	演習	2	**
保育課程論	講義	2	**
教育課程論	講義	2	
教育課程編成の実際	講義	2	
国語	講義	2	
社会	講義	2	
算数	講義	2	
理科	講義	2	
生活	講義	2	
音楽	講義	2	
図画工作	講義	2	
家庭	講義	2	
体育	講義	2	
初等教科教育法(国語)	演習	2	
初等教科教育法(社会)	演習	2	
初等教科教育法(算数)	演習	2	
初等教科教育法(理科)	演習	2	
初等教科教育法(生活)	演習	2	
初等教科教育法(音楽)	演習	2	
初等教科教育法(図画工作)	演習	2	
初等教科教育法(家庭)	演習	2	
初等教科教育法(体育)	演習	2	
道徳の指導法	講義	2	
特別活動の指導法	講義	2	
教育方法・技術	講義	2	
生徒・進路指導論	講義	2	
子どもと英語a	演習	2	*
子どもと英語b	演習	2	*
幼児教育法1	演習	2	*
幼児教育法2	演習	2	*

保育指導の実際	演習	2	
保育実習指導1	演習	2	**
保育実習1a(保育園)	実習	2	**
保育実習1b(児童福祉施設)	実習	2	**
保育実習指導2	演習	1	*
保育実習2a(保育園)	実習	2	*
保育実習2b(児童福祉施設)	実習	2	*
介護支援基礎論	講義	2	
介護等体験	実習	1	
教育実習指導(幼稚園)	演習	1	
教育実習指導(小学校)	演習	1	
教育実習a(幼稚園)	実習	4	
教育実習b(幼稚園)	実習	2	
教育実習a(小学校)	実習	4	
教育実習b(小学校)	実習	2	
保育・教職実践演習(幼稚園)	演習	2	**
教職実践演習(幼・小)	演習	2	
心理測定研究法1	演習	2	*
心理測定研究法2	演習	2	*
家族社会心理学1	講義	2	*
家族社会心理学2	講義	2	*
家族臨床心理学1	講義	2	*
家族臨床心理学2	講義	2	*
心理学基礎実験1	演習	2	*
心理学基礎実験2	演習	2	*
脳と心	講義	2	
臨床心理学概論	講義	2	
子ども理解とカウンセリング	講義	2	*
ネットワーク社会論	講義	2	*
情報文化概論a	講義	2	
情報文化概論b	講義	2	

生活経済論a	講義	2	
生活経済論b	講義	2	
生活経済論演習a	演習	2	
生活経済論演習b	演習	2	
造形デザイン論1	講義	2	
造形デザイン論2	講義	2	
メディアアート論1	講義	2	*
メディアアート論2	講義	2	*
映像制作技術	演習	2	*
ネットワーク技術論1	講義	2	
ネットワーク技術論2	講義	2	
環境文化論1	講義	2	
環境文化論2	講義	2	
原書講読a	演習	2	
原書講読b	演習	2	
生活装備論1	講義	2	
生活装備論2	講義	2	
生活装備論演習1	演習	2	
生活装備論演習2	演習	2	
コミュニケーション論	講義	2	
比較生活文化論1	講義	2	
比較生活文化論2	講義	2	
生活文化史演習1	演習	2	
生活文化史演習2	演習	2	
女性社会論a	講義	2	
女性社会論b	講義	2	
社会責任論	講義	2	
メディア技術論演習a	演習	2	
メディア技術論演習b	演習	2	
女性社会論演習a	演習	2	
女性社会論演習b	演習	2	

**印：「保育士養成課程」必修科目 52単位

*印：「保育士養成課程」選択必修科目 9単位以上

別表第4

第15条別表第4 生活科学部専門科目 現代生活学科

必修科目			
授業科目	授業形態	単位数	備考
ビジネスプランニング	演習	2	
現代生活学	講義	2	
ゼミナール	演習	4	
ファイナルプロジェクト	演習	4	
コミュニティ概論	講義	2	
環境科学概論	講義	2	
メディア社会概論	講義	2	
グレートブックスセミナー1	演習	2	
ライフ・プランニング	講義	2	
ビジネス・スキル a	演習	2	
ビジネス・スキル b	演習	2	
企業研究 a	演習	2	
企業研究 b	演習	2	
選択科目			
プロジェクト演習 a	演習	2	
プロジェクト演習 b	演習	2	
家庭経営 a (食生活)	講義	2	
家庭経営 b (衣環境)	講義	2	
家庭経営 c (育児・介護)	講義	2	
基礎メディア技術	講義	2	
プレゼンテーション技法	講義	2	
フィールドリサーチ	講義	2	
統計とモデリング	講義	2	
現代社会を読み解く a (政治と経済)	講義	2	
現代社会を読み解く b (生活と産業)	講義	2	
現代社会を読み解く c (文化と市場)	講義	2	
現代社会を読み解く d (科学技術と社会)	講義	2	
グレートブックスセミナー2a	演習	2	
グレートブックスセミナー2b	演習	2	
地域文化形成論	講義	2	
コミュニティ経済演習	演習	2	
自立生活論 a (健康)	講義	2	

自立生活論 b (消費者)	講義	2	
自立生活論 c (安全と保障)	講義	2	
少子高齢化社会	講義	2	
グローバル社会	講義	2	
地域エネルギー論	講義	2	
地域エネルギー論演習	演習	2	
地域食料論	講義	2	
地域食料論演習	演習	2	
生活産業創出論	講義	2	
環境マーケティング論 a	講義	2	
環境マーケティング論 b	講義	2	
環境マーケティング論演習 a	演習	2	
環境マーケティング論演習 b	演習	2	
エコビジネス演習	演習	2	
環境工学及び調査	講義	2	
環境マネジメント論	講義	2	
環境経済学	講義	2	
環境思想 a	講義	2	
環境思想 b	講義	2	
環境思想演習	演習	2	
生活ビジネス a (グリーンビジネス)	講義	2	
生活ビジネス b (コミュニティビジネス)	講義	2	
生活ビジネス c (マイクロビジネス)	講義	2	
生活産業史	講義	2	
社会責任論	講義	2	
女性社会論 a	講義	2	
女性社会論 b	講義	2	
メディア生活学 a	講義	2	
メディア生活学 b	講義	2	
メディアアート論 a	講義	2	
メディアアート論 b	講義	2	
映像制作演習 a	演習	2	
映像制作演習 b	演習	2	
メディアテクノロジー演習 a (Web)	演習	2	
メディアテクノロジー演習 b (データ)	演習	2	
メディアテクノロジー演習 c (開発)	演習	2	

メディア生活経営論 a	講義	2	
メディア生活経営論 b	講義	2	
メディア生活経営論演習 a	演習	2	
メディア生活経営論演習 b	演習	2	
情報セキュリティ社会	講義	2	
広告とメディア	講義	2	
ビジネス・マナー	演習	2	
家庭経営論	講義	2	
家族関係論	講義	2	
衣料学	講義	2	
衣料学演習	演習	2	
衣服製作実習 a	実習	1	

衣服製作実習 b	実習	1	
衣服製作実習 c	実習	2	
栄養学	講義	2	
食品学	講義	2	
調理学及び実習	実習	2	
住居学	講義	2	
看護学	講義	2	
育児学	講義	2	
保育学	講義	2	
家庭工学	講義	2	

別表第5

第15条別表第5 人間社会学部専門科目 人間社会学科

区分	授業科目	授業形態	単位数		備考
			必修	選択	
基礎科目	人間社会学総論	講義	2		
	心理学基礎	講義	2		
	社会学概論	講義	2		
	経済学概論	講義	2		
	経営学概論	講義	2		
	法律学	講義	2		
	コミュニケーション概論	講義	2		
	社会と統計	講義	2		
基幹科目	人間関係論	講義		2	
	行動科学	講義		2	
	社会心理学	講義		2	
	カウンセリング基礎	講義		2	
	ジェンダー論	講義		2	
	社会言語学	講義		2	
	経営管理論	講義		2	
	キャリアデザイン論	講義		2	
	言語コミュニケーション教育論	講義		2	
	ミクロ・マクロ経済学	講義		2	
	民法概論	講義		2	
	簿記論Ⅰ	講義		2	
	簿記論Ⅱ	講義		2	
	社会調査概論	講義		2	
	社会調査方法論	講義		2	
調査・実験データ処理法	講義		2		
展開・応用科目	認知心理学	講義		2	
	生涯心理学	講義		2	
	学習心理学	講義		2	
	女性心理学	講義		2	
	人格心理学	講義		2	
	健康心理学	講義		2	
	家族社会学	講義		2	
	社会政策論	講義		2	
	都市社会論	講義		2	
	家族法	講義		2	

心理学統計法	講義		2
心理学実験実習Ⅰ	実習		2
心理学実験実習Ⅱ	実習		2
社会調査実習Ⅰ	実習		2
社会調査実習Ⅱ	実習		2
国際政治論	講義		2
会计学総論	講義		2
原価計算論	講義		2
会計監査論	講義		2
金融論	講義		2
財政論	講義		2
保険論	講義		2
流通サービス論	講義		2
産業組織論	講義		2
情報社会論	講義		2
消費者心理学	講義		2
知的財産法	講義		2
企業法	講義		2
社会科学データ分析	講義		2
日本語コミュニケーション基礎	講義		2
日本語コミュニケーション実践	講義		2
異文化理解	講義		2
現代ジャーナリスト論	講義		2
メディア文化論	講義		2
メディア表現論	講義		2
ホスピタリティ論	講義		2
カウンセリング	講義		2
産業カウンセリング	講義		2
コーチング論	講義		2
情報環境論	講義		2
Webコミュニケーション	講義		2
情報ネットワーク	講義		2
関連科目	社会の基礎数学	講義	2
	現代企業論	講義	2
	応用社会心理学	講義	2
	産業心理学	講義	2

	安全心理学	講義		2
	犯罪心理学	講義		2
	心理学研究法	講義		2
	臨床心理学	講義		2
	教育心理学	講義		2
	共生支援論	講義		2
	社会文化事業論	講義		2
	商法概論	講義		2
	国際経済論	講義		2
	地理学概論	講義		2
	特別講義 A	講義		2
	特別講義 B	講義		2
演習科目	演習 I	演習	2	
	演習 II A	演習	2	

	演習 II B	演習	2	
	演習 III A	演習	2	
	演習 III B	演習	2	
	演習 IV A	演習	4	
	演習 IV B	演習	4	
外国語科目	英語コミュニケーション I	演習	2	
	英語コミュニケーション II A	演習	2	
	英語コミュニケーション II B	演習	2	
	中国語コミュニケーション I A	演習		2
	中国語コミュニケーション I B	演習		2
	中国語コミュニケーション II A	演習		2
	中国語コミュニケーション II B	演習		2

別表第5

第15条別表第5 人間社会学部専門科目 現代社会学科

区分	授業科目	授業形態	単位数		備考
			必修	選択	
基礎科目	人間社会学総論	講義	2		
	心理学基礎	講義	2		
	社会学概論	講義	2		
	経済学概論	講義	2		
	経営学概論	講義	2		
	法学	講義	2		
	コミュニケーション概論	講義	2		
	社会と統計	講義	2		
基幹科目	現代社会論	講義		2	
	人間教育学概論	講義		2	
	人間関係論	講義		2	
	教育心理学	講義		2	
	社会心理学	講義		2	
	行動科学	講義		2	
	カウンセリング基礎	講義		2	
	ジェンダー論	講義		2	
	ミクロ・マクロ経済学	講義		2	
	企業戦略論	講義		2	
	キャリアデザイン論	講義		2	
	キャリアマネジメント論	講義		2	
	簿記論Ⅰ	講義		2	
	簿記論Ⅱ	講義		2	
	民法概論	講義		2	
	商法概論	講義		2	
展開・応用科目	人間形成論	講義		2	
	現代教育論	講義		2	
	教育社会学	講義		2	
	キャリア教育支援論	講義		2	
	女性と労働	講義		2	
	家族社会学	講義		2	
	都市社会論	講義		2	
	共生支援論	講義		2	
	NPO・NGO論	講義		2	
	ダイバーシティ社会論	講義		2	
	社会ネットワーク論	講義		2	
	社会文化事業論	講義		2	

地域社会学	講義		2
行政法	講義		2
社会倫理	講義		2
消費者保護論	講義		2
現代日本経済論	講義		2
現代企業論	講義		2
社会会計論	講義		2
地域経済と社会	講義		2
経済発展と社会	講義		2
中小企業論	講義		2
国際経済論	講義		2
国際企業論	講義		2
マーケティング論	講義		2
消費者心理学	講義		2
安全心理学	講義		2
企業法	講義		2
経済法	講義		2
産業心理学	講義		2
経営心理学	講義		2
人格心理学	講義		2
臨床心理学	講義		2
発達臨床心理学Ⅰ	講義		2
発達臨床心理学Ⅱ	講義		2
異文化理解	講義		2
集団組織コミュニケーション論	講義		2
人事管理論	講義		2
ホスピタリティ論	講義		2
リーダーシップ論	講義		2
カウンセリング	講義		2
産業カウンセリング	講義		2
コーチング論	講義		2
現代ジャーナリスト論	講義		2
関連科目	社会の基礎数学	講義	2
	認知心理学	講義	2
	生涯心理学	講義	2
	学習心理学	講義	2

女性心理学	講義		2
犯罪心理学	講義		2
心理学研究法	講義		2
心理学統計法	講義		2
心理学実験実習Ⅰ	実習		2
心理学実験実習Ⅱ	実習		2
社会調査概論	講義		2
社会調査方法論	講義		2
社会調査実習Ⅰ	実習		2
社会調査実習Ⅱ	実習		2
調査・実験データ処理法	講義		2
社会科学データ分析	講義		2
国際政治論	講義		2
地理学概論	講義		2
特別講義A	講義		2
特別講義B	講義		2

演習科目	演習Ⅰ	演習	2	
	演習ⅡA	演習	2	
	演習ⅡB	演習	2	
	演習ⅢA	演習	2	
	演習ⅢB	演習	2	
	演習ⅣA	演習	4	
	演習ⅣB	演習	4	
	外国語科目	英語コミュニケーションⅠ	演習	2
英語コミュニケーションⅡA		演習	2	
英語コミュニケーションⅡB		演習	2	
中国語コミュニケーションⅠA		演習		2
中国語コミュニケーションⅠB		演習		2
中国語コミュニケーションⅡA		演習		2
中国語コミュニケーションⅡB		演習		2

別表第6

第16条別表第6 教職課程授業科目及び単位数
全学部共通

授業科目	授業形態	単位数	備考
教職入門	講義	2	
教育原理	講義	2	
教育原理(栄養)	講義	1	
発達・学習理論	講義	2	
教育制度	講義	2	
教育制度(栄養)	講義	1	
教育課程論	講義	2	
教育課程論(栄養)	講義	1	
教科教育法	国語科教育法	講義	2
	書道科教育法	講義	2
	英語科教育法	講義	2
	美術科教育法	講義	2
	家庭科教育法	講義	2
	情報科教育法	講義	2
	社会科教育法	講義	2
	社会科・公民科教育法	講義	2
国語科教育実践研究(1)	講義	2	
国語科教育実践研究(2)	講義	2	
書道科教育実践研究	講義	2	
英語科教育実践研究(1)	講義	2	
英語科教育実践研究(2)	講義	2	
英語科教育実践研究(3)	講義	2	
美術科教育実践研究(1)	講義	2	
美術科教育実践研究(2)	講義	2	
美術科教育実践研究(3)	講義	2	
家庭科教育実践研究(1)	講義	2	

家庭科教育実践研究(2)	講義	2	
家庭科教育実践研究(3)	講義	2	
情報科教育実践研究	講義	2	
社会科教育実践研究(1)	講義	2	
社会科教育実践研究(2)	講義	2	
公民科教育実践研究	講義	2	
道德教育指導論	講義	2	
道德教育指導論(栄養)	講義	2	
教育方法・技術論	講義	2	
教育方法・技術論(栄養)	講義	1	
生徒指導論	講義	2	
教育相談	講義	2	
教育実習A	講義 実習	5	
教育実習B	講義 実習	3	
栄養教育実習	講義 実習	2	
教職実践演習(中・高)	演習	2	
教職実践演習(栄養)	演習	2	
教職特別講義	講義	2	
介護支援基礎論	講義	2	
介護等体験	実習	1	
教職研究a	講義 演習	2	
教職研究b	講義 演習	2	
教職研究c	講義 演習	2	
教職研究d	講義 演習	2	
教職研究e	講義 演習	2	
児童・生徒栄養教育論(1)	講義	2	
児童・生徒栄養教育論(2)	講義	2	

別表第7

第16条別表第7 図書館司書関係授業科目
全学部共通

必修科目			
授業科目	授業形態	単位数	備考
生涯学習論	講義	2	
図書館概論	講義	2	
図書館情報技術論	講義・演習	2	
図書館制度・経営論	講義	2	
図書館サービス概論	講義	2	
情報サービス論	講義	2	
児童図書館サービス論 a	講義・演習	2	
児童図書館サービス論 b	講義・演習	2	
情報サービス演習 a	演習	1	
情報サービス演習 b	演習	1	

図書館情報資源概論 a	講義・演習	2	
図書館情報資源概論 b	講義・演習	2	
情報資源組織法 1 a	講義・演習	1	
情報資源組織法 1 b	講義・演習	1	
情報資源組織法 2 a	講義・演習	1	
情報資源組織法 2 b	講義・演習	1	
選択科目			
図書館基礎特論	講義	2	
図書・図書館史	講義	2	
図書館施設論	講義	2	
図書館総合演習	講義・演習	2	
図書館実習	講義・実習	2	

別表第8

第16条別表第8 学校図書館司書教諭関係授業科目及び単位数
全学部共通

必修科目			
授業科目	授業形態	単位数	備考
学校経営と学校図書館	講義	2	
学校図書館メディアの構成	講義	2	
学習指導と学校図書館	講義	2	
読書と豊かな人間性	講義	2	
情報メディアの活用	講義 演習	2	

別表第9

第16条別表第9 博物館学芸員関係授業科目

文学部・人間社会学部共通

必修科目			
授業科目	授業形態	単位数	備考
博物館学入門	講義	2	
博物館経営論	講義	2	
博物館資料論	講義	2	
博物館教育論	講義	2	
生涯学習概論	講義	2	
博物館情報・メディア論	講義	2	
博物館展示論	講義	2	
博物館資料保存論	講義	2	
博物館実習1 a	実習	1	
博物館実習1 b	実習	1	
博物館実習2	実習	1	
選択科目			
美術史概論 a	講義	2	
美術史概論 b	講義	2	
工芸史概論 a	講義	2	
工芸史概論 b	講義	2	
文化史概論 a	講義	2	
文化史概論 b	講義	2	
知的財産研究	講義	2	
アート&パブリッシング	講義	2	
パブリック・プログラム研究	講義	2	
保存修復 a	講義	2	
保存修復 b	講義	2	

別表第10

第60条別表第10

外国人留学生特設科目

選 択 科 目			
授 業 科 目	授業形態	単位数	備 考
日 本 文 化 事 情 a	講義	2	
日 本 文 化 事 情 b	講義	2	
日 本 語 a	講義	2	
日 本 語 b	講義	2	
日 本 語 c	講義	2	
日 本 語 d	講義	2	

学則の変更の趣旨等を記載した書類

1 学校法人実践女子学園の沿革

学校法人実践女子学園は、明治 32 年（1899 年）に設立された実践女学校並びに女子工芸学校を母体とし、平成 21 年（2009 年）5 月に創立 110 周年を迎えた。現在は、実践女子大学（文学部、生活科学部、人間社会学部）、実践女子大学大学院（文学研究科、生活科学研究科、人間社会研究科）、実践女子短期大学（日本語コミュニケーション学科、英語コミュニケーション学科、食物栄養学科）及び実践女子学園中学校、実践女子学園高等学校を設置している。

実践女子大学は、明治 41 年（1908 年）に設置された高等専門部家庭科及び技芸科を母体とし、後の実践女子専門学校を経て、昭和 24 年（1949 年）に実践女子大学（文家政学部）として設置された。昭和 40 年（1965 年）に文家政学部を廃止し、文学部（国文学科、英文学科）、家政学部（食物学科、被服学科）を設置、昭和 41 年（1966 年）に大学院文学研究科、家政学研究科を設置した。その後、文学部に美学美術史学科を増設、家政学部を生活科学部に改組して食生活科学科、生活環境学科及び生活文化学科の 3 学科構成とした。平成 16 年（2004 年）に新たに三つ目の学部として人間社会学部（人間社会学科）を設置する等、各々の時代が求める人材の育成に努めてきた。

2 学則変更（収容定員変更）の内容

本学は、平成 7 年（1995 年）に家政学部の名称を生活科学部に変更した。同時に食生活科学科を食生活科学科に、被服学科を生活環境学科にそれぞれ名称を変更するとともに、新たに生活文化学科を設置して 3 学科からなる学部として教育を行ってきた。食生活科学科では管理栄養士や食品衛生監視員・管理者などの資格を、生活環境学科では衣料管理士や建築士などの資格を、生活文化学科では幼稚園教諭や保育士などの資格を取得できるように実学を中心とした教育研究を行ってきた。21 世紀の社会では、情報化と社会構造の変化、資源・環境問題の顕在化に伴い、家政学の領域においても、産業と社会構造の変化に対応した家庭生活と個人の生き方について、科学的知見や産業技術そして文化的価値に基づいた再構築を目指す教育研究が必要となってきた。

本学の生活科学部においても、これらの状況を踏まえ、産業や地域社会における事業経営と密接に結びついた教育研究を志向する学科が必要となり、平成 26 年（2014 年）4 月に四つ目の学科として現代生活学科（入学定員 60 名、収容定員 240 名）を設置することとした。

現在の生活科学部の収容定員は、食生活科学科が 3 専攻で 740 名、生活環境学科が 324 名、生活文化学科が 2 専攻で 344 名、合計 1,408 名である。ここに新たに収容定員 240 名の現代生活学科を設置し、1,648 名の学部とする。

これにより、実践女子大学全体の収容定員は 3,488 名から 3,728 名に 240 名増加する。

（資料 1）

3 学則変更（収容定員変更）の必要性

(1) 現代生活学科設置の必要性

実践女子大学生生活科学部には、食物・栄養を総合的に扱う食生活科学科、衣・プロダクト・住の面から身近な環境を扱う生活環境学科、保育や教育や生活の文化的な面を主に扱う生活文化学科がある。

本学が家政学、生活科学の教育研究で培ってきた生活価値に基づく立場から、産業や社会のあり方が変化する現代において、社会、家庭、自身の生活はどのようにあるべきかを問い、またそれをつくりあげてゆくための視野と洞察、認識、判断力をいかに身につけていくかが、課題として見えてきた。一方、情報や文化、物流、人的交流がグローバル化する 21 世紀社会では、持続的で確かな実体を持つ地域社会や生活の再生も大きな課題である。新たな社会に応じた新しい生活者として生きていくための教養と実践力を培う、新たな時代の実学が求められている。このため、生活科学部に現代生活学科を設け、自立+環境+メディアを基軸として学び、新しい社会状況に即応して産業、行政、地域で活躍する人材を育成することとした。

さらに、本学は平成 26 年（2014 年）4 月に文学部、人間社会学部が渋谷キャンパスに移転するため、日野キャンパスにおいても幅広い生活科学の分野の一翼として、文化、社会、経済系の教育を担う部門が必要となった。

これらの点を総合的に検討して、生活科学部に新たに現代生活学科を設け、家政学の柱の一つである家庭・生活経済に軸足を置き、新しい社会・産業づくりを目的とした教育研究を行う。

1) 有識者調査

女性の生き方や働き方の現状・方向性及びそこで求められる人材や、そうした人材を育てるための大学教育のあり方について、有識者に対して聞き取り調査を行った。（資料 2）

有識者からの聞き取りの結果を受け、女性や生活者を取り巻く課題や環境変化の方向性、産業界や雇用機会でも求められる課題や環境変化を解決する能力、日野キャンパスにおける教育機能の発展の方向性を総合的に判断し、現代生活学科の目指すべき人材像を次のように考えた。

- ・生活に対するビジョンや生活者視点を持って、生活産業において活躍し、社会に貢献できる人材（生活産業人材）
- ・変動する社会やライフステージの変化の中で、力強く活躍できる人材（雇用獲得・継続能力の高い人材）
- ・生活に係る制度や技術の理解に基づき、確かな選択眼と判断を通じ、家庭や生活を経営できる人材（賢い生活者）
- ・良識ある生活者として、公共性と貢献意識を持って積極的に社会に参画できる人材（地域生活人材）

2) 企業インタビュー

企業が求める人材像については、経済産業省の社会人基礎力の提言や就職活動支援等を行っている企業が行っている調査などがある。

一方、本学では現代生活学科の設置計画段階で、現代生活学科卒業後に想定される就職先の企業等の人事担当者を対象に、最近の大学卒業生に対する評価、女子大学生に対する評価、企業が求める人材、大学の教育に対する期待・要望についてインタビュー調査を行った。(資料3)

その結果、企業が求める人材は、「ジェネリックスキル」であり、そのためには大学教育の中でいかにして「生きる力」「生き方・働き方」を学び、「ジェネリックスキル」を身につかせるかが重要であるとの結論を得た。

3) 高校生アンケート

現代生活学科の教育分野の策定過程においては、事前に高校生を対象としたアンケート調査(Webアンケート)を行った。高校生1030名(大学進学希望の女子を事前抽出)のアンケート結果によれば、女子大学への進学を考えている者が17%(共学の大学でもどちらでも良いを含む。)あり、実践女子大学を認知している者(全体の31%)の中では20.6%となっている。女子大学を志望する者が「期待すること」においては、「社会人になったときに役立つ知識の習得」や「就職に有利な資格の取得」、「専門分野の学問への取り組み」などが共学志望の高校生よりも高い。また、将来なりたい人物像としても「仕事と生活(家事、育児、趣味等)を両立できる者」が高く、受講したい授業として、「働き方・仕事の選び方」「家庭経済・消費者問題」「インターネット・メディア」「文学・文化・歴史」などが上位となっている。これらのアンケートの結果からも現代生活学科の教育内容は、現在の高校生が求めているものと合致しているといえる。(資料4)

高校生アンケート結果から現代生活科学科のカリキュラムについて、次の点が重視される特徴であると考えられる。

- ・「働き方・仕事の選び方」「家庭経済等」「外国語・コミュニケーション」「IT」等のニーズ
- ・「仕事と生活を両立できる人」になりたい
- ・女子大学に対する良いイメージ(希望職業につける、評判、伝統)

(2) 入学定員設定の考え方とその根拠となる学生確保の見通し

1) 入学定員の設定の考え方

本学生活科学部現代生活学科は、入学定員60名、収容定員240名と設定した。

入学定員60名は、これまで本学及び併設短期大学における各学科の入学定員、収容定員並びに各学科の学生確保の状況に鑑み、学生確保が十分できる人数として、設定を行った。

現在本学の各学科の入学定員では生活科学部生活環境学科の80名が最少である。

また専攻毎に募集をしている学科では、食生活科学科管理栄養士専攻が 70 名、食生活科学科食物科学専攻が 75 名、食生活科学科健康栄養専攻（平成 25 年 4 月開設）が 40 名、生活文化学科生活文化専攻が 40 名、生活文化学科幼児保育専攻が 45 名である。文学部各学科、生活科学部各学科・専攻、人間社会学部各学科において、いずれの学科も学生を十分に確保してきているところである。これら既設の各学科、専攻の入学定員と志願状況に鑑み、当初の新学科設置構想時点では入学定員を 80 名と想定していたが、18 歳人口の減少期に入っていることから、入学定員を 60 名とすることとした。

2) 実践女子大学の志願状況

本学の志願者数の推移を過去 5 年間で見てみると、入学定員が 2011 年度に 30 名増となったが、志願者数は 2008 年度の 3,663 名から 2012 年度は 4,789 名まで増加している。さらに、2013 年度の入学志願者数は、5,481 名となり、2008 年度から 1,818 名、約 50%の増員となっているなど、入学志願者数は安定的に伸びている。また、現代生活学科は、家政学の一分野である家庭経済学やメディア論も教育課程の柱とするため、生活科学部とともに人間社会学部を志望する者からも支持されると考えられる。本学における、これらの学部はいずれも志願者数が増加しており、現代生活学科開設後も、十分に入学者を確保することができる。（資料 5）

3) 他大学の志願状況

現代生活学科は、実践女子大学生生活科学部に四つ目の学科として設置するものである。学生確保の見通しとして、近隣の女子大学の過去 5 年間の志願状況を確認することとした。

東京都多摩地区、東京 23 区内、神奈川県に所在する女子大学の過去 5 年間の志願状況によると、入学定員に対する志願者数が 4 倍から 8 倍となっている。一方社会科学系の学部であっても、2.5 倍から 8 倍となり、東京圏の女子大学の家政系、社会系の学部では志願者の減少は見受けられない。

これらのデータに見られるとおり、志願者数が大きく減少している大学はないことから、本学のある東京都多摩地区であっても学生確保に十分な志願者を集めることができると考える。（資料 6）

4) 高校生に対する現代生活学科に関するアンケート

平成 25 年 3 月 24 日の平成 26 年度に向けたオープンキャンパスの会場にて、来場者にアンケートを実施した。オープンキャンパス来場者 274 名に対してアンケート用紙を配布したところ、アンケートの回収数は 146 件あった。

アンケートでは、現代生活学科における人材育成像、カリキュラムの概略、学びたい科目等を聞いた後に、「現代生活学科を志願したい」かを尋ね、さらに志願したい場合の「志望度」を聞いた。

その結果、現代生活学科の人材育成の目標、カリキュラムの概略、教育方法については、おおむね興味、関心を持ってもらえた。そして現代生活学科を「志願先と考える」、「やや志願先として考える」の回答者が 86 件 (58.1%) あった。その志望度については、第 1 志望 25 名、第 2 志望 35 名となっており志願先と考える者のうち 69.8% の者が高い志望度となっている。(資料 7)

また、高校生 1030 名に対して Web アンケートを実施したところ、現代生活学科の人材育成の目標、カリキュラムの概略、教育方法については、おおむね興味、関心を持ってもらえた。そして現代生活学科を「志願先と考える」、「やや志願先として考える」の回答割合は、186 件 (17.5%) あった。その志望度については、第 1 志望 16 名、第 2 志望 61 名となっており志願先と考える者のうち 41.4% の者が高い志望度となっている。Web アンケートでは志望学部が多岐にわたっていることを考えると、生活科学系の中では高い志望度を示している。(資料 8)

以上、本学の志願者、入学者の状況、近隣他大学の志願状況並びに高校生に対するアンケートの実施結果から、学生の確保は十分できると考える。

4 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

この度新たに設置する生活科学部現代生活学科は、現代生活の問題を構造的に捉えクリエティブに解決できる人材の育成を目的としており、その教育課程は、以下のような考え方に基づいて編成されている。

(1) 教育課程の変更内容について

1) 教育課程編成の考え方

本学の建学の精神である「女性の自立と自営」を基底に据え、「共存・共生」の精神に支えられた人間観を養い、人間の文化と社会に対する深い洞察力に裏打ちされた実践的な教育・研究を促進することによって、21 世紀の社会の要請に応え、貢献できる人材の育成を目指すことにある。

教育課程は、幅広い教養教育を目指す「共通教育科目」と学科の教育理念・目的に沿った「専門科目」によって編成する。

「共通教育科目」は、「実践スタンダード科目」、「実践アドバンスト科目」及び「教養科目」で構成し、4 年間にわたり幅広い基礎的な教養と総合的な判断力を身につけるための教育を施す。

「専門科目」では、生活教養的視点の醸成を基盤とし、現代社会における環境問題と情報化、自立社会を切り口として、課題の解析、解決の手法を修得させる。さらに実践・演習型学習を通じて、応用力と社会人基礎力を涵養し、女性と生活者の視点から、生活ビジネスのニーズを掘り起こし、教育、行政をはじめとする幅広い産業分野において新たなサービスを創造し、社会貢献と自己実現を果たす人材を育成することを目標とする。そのために、専門科目の教育課程は「専門総合科目」「専門基礎科目」「グレートブックスセミナー」「専門教育科目」「キャリア

ア形成」及び「教職関連科目」の群からなるものとした。

2) 教育課程の特色

生活科学部現代生活学科では、自立、環境、メディアに関する学習を通じて、社会人基礎力の醸成を行うこととして、専門教育科目では、「自立社会と自立生活」「環境と生活産業」「メディアと生活」を3本の柱として、学生は次の学習を行う。

- ① 「自立社会と自立生活」の領域では、持続可能な社会経営・生活について、エネルギー、食料、安全などの様々な切り口から検討し、課題から派生する新しいニーズの発掘と商品・サービスの創造を探る視点を築くと共に、自らが一員である地域社会と家庭生活の新たなかたちと可能性を見いだしていく。
- ② 「環境と生活産業」の領域では、資源・エネルギー制約が現実化した新たな社会状況をとらえ、問題解決に結びつく新たなビジネスや技術イノベーション、マーケティングの手法を学び、環境問題に対応した新たな社会・産業・生活づくりと、その基底となる新たな価値形成に結びつく力を身につけていく。
- ③ 「メディアと生活」の領域では、現代の生活や社会を、インターネットに代表される情報ネットワーク技術の側面からとらえるだけでなく、産業や社会の構造と人間観がメディア的なものになることを理解し、メディア技術を用いた経営、新たなサービスの創造、メディア社会が抱える問題などを学んでいく。

(2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

現代生活学科では、自立、環境、メディアに関する基礎的な知識の習得と、問題解決の手法の学習を通し、現代生活の問題を解決していく力を修得させることを目的としている。非実験系の学科としては、学科の専門科目における必修の単位数が多めのカリキュラム編成とした。なお、幾つかの授業科目を隔年開講とすることにより、選択の幅を広げつつも適正なコマ数とすることとした。現代生活学科は、具体的に次の特色を有している。

1) 教育方法の特色

科目の展開に当たって、教育の目的を明確にし、教育効果を高めるために、以下のような教育方法を実施する。

①少人数教育

専任教員全員が3,4年次のゼミナール、ファイナルプロジェクトを担当する。入学定員60名に対し、6名の専任教員がいるので、1ゼミ10名の学生を想定する。

また、専門教育科目においても、演習系の授業科目を多く設けることにより、日常の授業からアクティブラーニングを多用して学生の考える力、積極的に答える態度、発表する姿勢を涵養する。

②専門基礎科目

1年次には、学生が教育課程の全体の構成が理解できるように、専門基礎科目を

学ぶものとし、学生が自ら到達できる「自分像」を描けるものとする。カリキュラムの特色として「グレートブックスセミナー」と「現代社会を読み解く」を組み入れている。これらの科目は、「品格高雅」の一翼を担う歴史、思想、社会の側面からの教養教科として、広い対象に興味を持ち、想像力を養い、視野を広げ、社会の現象に対する正確な理解と洞察力を培うと共に、主体性、積極性、疑問を持ち、考え、まとめ、伝える力を養いことをねらいとしている。

③プロジェクト型演習

本学科の特色としてプロジェクト、コラボレーション型演習がある。学んだことを基に実際に企画、運営するアクティブな総合的学習を進めるものであり、思考力、主体性、協働的態度も含むジェネリックスキルをも培う科目である。さらに実際に企業と連携した活動を行うことを通じて、経験と自信、強い創造性、イノベーションが生まれる好循環を形成すると考えられる。専任教員全員が3、4年次のゼミナール、ファイナルプロジェクトを担当する。

④キャップ制

1単位の修得に要する時間を、教室等における教員による授業時間及び学生の教室外における予習・復習の時間を合計して45時間が標準であるところから、学生が1 Semesterに修得する単位数の上限を24単位とする。このキャップ制とSemester制、GPAとを有機的に組み合わせ、学生にとって加重な同時並行の学習を軽減し、授業内容の確実な理解と修得の促進及び4年間にわたっての継続的な学業生活を実現する。

⑤キャリア教育

現在の厳しい雇用情勢や社会からの要請に応じるため、キャリア形成科目を専門科目に置き、「ライフ・プランニング」「ビジネス・スキル」「企業研究」の各科目を必修科目とした。

2) 履修指導方法

生活科学部現代生活学科では、1年次に専門教育の基礎となる科目を必修科目として配置する。1年次には必修科目のほか「専門基礎科目」群の科目を選択履修する。

2年次からは、「専門教育科目」の科目を選択履修するが、講義科目と演習科目を体系的に学べるものとする。

3年次に「ゼミナール」、4年次に「ファイナルプロジェクト」を履修し、卒業論文作成につなげていく。

なお、選択科目の履修は、学生の安易な履修を避け、体系的な教育を実現するため、卒業後の進路に応じた履修を行えるよう、指導をしていく。また、学生の関心興味に合った学習ができるように、履修ガイダンスや担当教員の指導・アドバイスにより綿密に履修指導を徹底する。

3) 教育施設等

実践女子大学は、平成 26 年（2014 年）4 月の収容定員変更によって、日野キャンパスでは生活科学部（4 学科、収容定員 1,648 名）、渋谷キャンパスでは、文学部（3 学科、同 1,280 名）、人間社会学部（2 学科、同 800 名）が教育研究を展開する。

①校地面積

日野キャンパス（東京都日野市大坂上）には、運動場を含めて 42,541 m²の校地を有している。さらに渋谷キャンパスでは約 2,500 m²の校地を有しており、この度の収容定員増に基づく新収容定員 3,728 人においても、1 人当たり 10 m²の大学設置基準上必要な面積を十分に満たしている。

②校舎面積

現在、日野キャンパスには本館、第 1 館、第 2 館、第 3 館、第 4 館、第 5 館、第 6 館、第 7 館、香雪記念館、学生食堂棟、事務センター棟を有し、総校舎面積は、35,167 m²であり、大学設置基準上必要な校舎面積 19,807.88 m²を十分に満たしている。

平成 26 年（2014 年）4 月には、文学部、人間社会学部が渋谷の校地に移転して教育を展開するために、渋谷キャンパスに新たに約 27,000 m²の校舎を建設（平成 26 年 1 月竣工予定）する。日野キャンパス、渋谷キャンパスの校舎総面積は 50,000 m²を超えるものであり、3 学部 9 学科（収容定員 3,728 名）の教育施設としては十分なものである。

平成 26 年（2014 年）の文学部、人間社会学部の移転後には、日野キャンパスの整備を始め、除却対象校舎にある実験室等を本館、第 1 館へ移設、除却対象の第 2 館（約 2,930 m²）、第 3 館（約 5,084 m²）の解体・除却を行う。第 2 館、第 3 館の解体・除却後においても日野キャンパスの校舎は 27,000 m²以上の面積を有する計画である。また教室等の移設計画も授業等に十分配慮して行うものとする。

③教室等の整備

現在の日野キャンパスの教室数は、講義室 41 室、演習室 34 室、コンピュータ演習室 4 室（パソコン設置台数合計 235 台）、情報ラウンジ 1 室（パソコン設置台数 119 台）、LL 教室 1 室などを有しているが、今後、講義室、演習室、コンピュータ演習室などの整備、再配置が計画されている。

また、体育館、茶室等は既存の施設を活用し、「学生ラウンジ」、本館 1 階の学生相談スペース「のんびり」等も引続き活用する。一方、学生食堂は現在 3 か所が整備されているが、日野キャンパスの在籍者数に応じて、学生食堂は 600 席を要する桜ホール食堂 1 室に集約し、それ以外の食堂は他の用途に活用する構想である。以上のように、今般の収容定員増による学生の増加には 2 校地で充分対応できるように、教育施設を整備していく。

④日野キャンパスの整備計画

現代生活学科が教育研究を行う日野キャンパスにおける、平成 26 年度以後の校舎整備計画は次のとおりである。

1) 1 次計画：老朽校舎（第 2 館、第 3 館）の実験・実習施設等の移設

第 3 館の幼児・保育専攻で主に使用している保育実習室、音楽室、図工室の機能

を、平成 26 年度前期中に第 1 館に移し、平成 27 年度から使用する。

第 2 館の学友会等の学生団体施設は、本館 5 階の文学部教員研究室として使用していた場所に移し、平成 27 年度から使用する。

2) 老朽校舎（第 2 館、第 3 館）の除却

第 2 館の解体、除却を平成 27 年度前期、第 3 館の解体、除却を平成 28 年度中に行う。

3) 本館各研究室の整備

本館の教員研究室スペースの整備と再配置を、平成 26 年度から平成 27 年度にかけて順次行う。なお、本館の施設整備は、授業に影響がないように長期休暇期間等を利用して行う。

4) 2 次計画：校舎建設等の構想

1)～3)の 1 次計画後に、さらなる校舎の建設計画を含めて、整備計画を策定していく。

(3) 教員組織の変更内容について

生活科学部の教員組織は、食生活科学科 19 名、生活環境学科 11 名及び生活文化学科 15 名、合計 45 名の教員で構成されている。現代生活学科は、生活文化学科から 3 名の教員が移籍するとともに、新規に 3 名の教員を採用することにより 6 名で構成する。また、生活文化学科には新たに 3 名の教員を補充するものとする。

大学設置基準上の教員数は、食生活科学科 9 名、生活環境学科 7 名、生活文化学科 7 名であるところから、生活科学部全体の教員数としても十分な教員を配置しているといえる。

一方、大学全体の教員数は平成 24 年度 111 名であり、設置基準として必要な教員数 95 名を十分確保しており、現代生活学科設置後の設置基準上必要な教員数 104 名に対しても平成 26 年 4 月時点で 128 名の教員組織とする計画である。その後定年となる教員が数名おり、平成 29 年 4 月時点で 125 名を予定している。

学則変更による収容定員の変更状況

変更前				変更後			
	入学 定員	編入 定員	収容 定員		入学 定員	編入 定員	収容 定員
文学部				文学部			
国文学科	110	9	458	国文学科	110	9	458
英文学科	110	9	458	英文学科	110	9	458
美学美術史学科	90	2	364	美学美術史学科	90	2	364
生活科学部				生活科学部			
食生活科学科 管理栄養士専攻	70	-	280	食生活科学科 管理栄養士専攻	70	-	280
食生活科学科 食物科学専攻	75	-	300	食生活科学科 食物科学専攻	75	-	300
食生活科学科 健康栄養専攻	40	-	160	食生活科学科 健康栄養専攻	40	-	160
生活環境学科	80	2	324	生活環境学科	80	2	324
生活文化学科 生活文化専攻	40	2	164	生活文化学科 生活文化専攻	40	2	164
生活文化学科 幼児保育専攻	45	-	180	生活文化学科 幼児保育専攻	45	-	180
人間社会学部				現代生活学科	60	-	240
人間社会学科	100	-	400	人間社会学部			
現代社会学科	100	-	400	人間社会学科	100	-	400
合計			3,488	現代社会学科	100	-	400
				合計			3,728

以下省略

資料 2

- 1 有識者インタビュー調査（調査概要）
 - 有識者インタビュー調査（女性や生活者を取り巻く環境変化）
 - 有識者インタビュー調査（新たな雇用機会や求められる能力）
 - 有識者インタビュー（コンセプト（仮説）と大学への期待）
- 2 株式会社三菱総合研究所

資料 3

- 1 企業インタビュー調査（調査概要）
 - 企業インタビュー調査（最近の新卒学生に関する評価）
 - 企業インタビュー調査（女子大や貴学卒業生に対する評価）
 - 企業インタビュー調査（企業が求める人材）
 - 企業インタビュー調査（大学に対する期待・要望）
- 2 株式会社三菱総合研究所

資料 4

- 1 高校生・大学生向けアンケート調査（調査概要）
 - 高校生・大学生向けアンケート調査（結果概要）
- 2 株式会社三菱総合研究所

実践女子大学入学者数 (2008年度～2012年度)

学部名	学科名		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
文学部	国文学科	志願者	649	599	645	696	673
		合格者	443	374	382	326	318
		入学者(A)	155	151	164	139	117
		入学定員(B)	120	120	120	110	110
	英文学科	志願者	570	580	663	710	725
		合格者	447	461	452	452	492
		入学者(A)	136	156	165	121	129
		入学定員(B)	120	120	120	110	110
	美学美術史学科	志願者	262	291	347	305	275
		合格者	199	234	280	243	228
		入学者(A)	93	107	113	109	92
		入学定員(B)	100	100	100	90	90
文学部合計		志願者	1,481	1,470	1,655	1,711	1,673
		合格者	1,089	1,069	1,114	1,021	1,038
		入学者(A)	384	414	442	369	338
		入学定員(B)	340	340	340	310	310
生活科学部	食生活科学科 管理栄養士専攻	志願者	531	844	734	775	609
		合格者	163	183	160	166	205
		入学者(A)	75	95	72	75	71
		入学定員(B)	70	70	70	70	70
	食生活科学科 食物科学専攻	志願者	328	339	358	388	372
		合格者	207	211	210	213	222
		入学者(A)	87	90	80	92	75
		入学定員(B)	75	75	75	75	75
	食生活科学科計	志願者	859	1,183	1,092	1,163	981
		合格者	370	394	370	379	427
		入学者(A)	162	185	152	167	146
		入学定員(B)	145	145	145	145	145
	生活環境学科	志願者	271	364	444	366	371
		合格者	210	244	206	192	200
		入学者(A)	70	104	113	95	91
		入学定員(B)	80	80	80	80	80
	生活文化学科 生活文化専攻	志願者	159	172	127	147	121
		合格者	113	108	102	115	113
		入学者(A)	44	57	59	49	49
		入学定員(B)	40	40	40	40	40
	生活文化学科 幼児保育専攻	志願者	274	248	273	281	382
		合格者	72	67	69	66	68
		入学者(A)	53	48	51	47	52
		入学定員(B)	45	45	45	45	45
生活文化学科計	志願者	433	420	400	428	503	
	合格者	185	175	171	181	181	
	入学者(A)	97	105	110	96	101	
	入学定員(B)	85	85	85	85	85	
生活科学部合計		志願者	1,563	1,967	1,936	1,957	1,855
		合格者	765	813	747	752	808
		入学者(A)	329	394	375	358	338
		入学定員(B)	310	310	310	310	310
学 部 人間社会	人間社会学科 現代社会学科	志願者	619	921	1,015	1,017	1,261
		合格者	472	519	490	577	648
		入学者(A)	173	165	183	218	213
		入学定員(B)	140	140	140	200	200
人間社会学部合計		志願者	619	921	1,015	1,017	1,261
		合格者	472	519	490	577	648
		入学者(A)	173	165	183	218	213
		入学定員(B)	140	140	140	200	200
大 学 合 計		志願者	3,663	4,358	4,606	4,685	4,789
		合格者	2,326	2,401	2,351	2,350	2,494
		入学者(A)	886	973	1,000	945	889
		入学定員(B)	790	790	790	820	820

近隣女子大学の過去5年間志願状況

		入学定員	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	志願者 倍率	志願者 増加率
大妻女子大学	文学部	300	1,444	1,444	1,425	1,263	1,074	3.58	0.74
	比較文化学部	150	617	572	593	638	457	3.05	0.74
	人間関係学部	250	819	1,031	1,314	910	803	3.21	0.98
	社会情報学部	300	830	979	1,004	988	718	2.39	0.87
	家政学部	400	1,481	1,484	1,711	1,763	1,857	4.64	1.25
	大学合計	1,400	5,191	5,510	6,047	5,562	4,909	3.51	0.95
共立女子大学	文芸学部	350	1,223	1,273	1,296	1,054	1,268	3.62	1.04
	国際学部	250	1,117	1,228	1,138	1,029	898	3.59	0.80
	家政学部	375	1,435	1,281	1,534	1,568	1,514	4.04	1.06
	大学合計	975	3,775	3,782	3,968	3,651	3,680	3.77	0.97
恵泉女学園	人文学部	205	1,384	1,154	1,130	1,099	1,247	6.08	0.90
	人間社会学部	205	1,136	894	917	900	885	4.32	0.78
	大学合計	410	2,520	2,048	2,047	1,999	2,132	5.20	0.85
駒沢女子大学	人文学部	450	488	441	544	733	782	1.74	1.60
	人間健康学部	80		66	328	415	312	3.90	4.73
	大学合計	530	488	507	872	1,148	1,094	2.06	2.24
昭和女子大学	人間社会学部	325	1,939	1,965	2,177	2,110	2,379	7.32	1.23
	人間文化学部	435	2,393	2,038	2,676	2,627	2,750	6.32	1.15
	生活科学部	307	1,471	1,602	1,824	1,817	2,081	6.78	1.41
	大学合計	1,067	5,803	5,605	6,677	6,554	7,210	6.76	1.24
東京家政大学	人文学部	270	960	1,346	1,817	1,647	1,844	6.83	1.92
	家政学部	945	5,566	6,030	7,109	7,067	7,303	7.73	1.31
	大学合計	1,215	6,526	7,376	8,926	8,714	9,147	7.53	1.40
東京家政学院大学	人部学部		100	80					
	家政学部		707	475					
	現代生活学部	505			687	1,156	1,272	2.52	1.85
	大学合計	505	807	555	687	1,156	1,272	2.52	1.58
日本女子大学	文学部	310	3,865	4,098	3,537	4,789	3,877	12.51	1.00
	人間社会学部	400	4,195	4,757	5,622	3,858	3,549	8.87	0.85
	理学部	155	1,492	1,333	1,303	1,233	1,352	8.72	0.91
	家政学部	375	3,465	2,833	4,180	3,501	3,478	9.27	1.00
	大学合計	1,240	13,017	13,021	14,642	13,381	12,256	9.88	0.94
鎌倉女子大学	児童学部	220	514	367	433	517	582	2.65	1.13
	教育学部	80		181	188	209	338	4.23	1.87
	家政学部	200	376	511	759	835	792	3.96	2.11
	大学合計	500	890	1,059	1,380	1,561	1,712	3.42	1.92
相模女子大学	人間社会学部	250	272	283	305	334	315	1.26	1.16
	栄養科学部	180	728	655	655	779	729	4.05	1.00
	学芸学部	465	480	587	579	549	580	1.25	1.21
	大学合計	895	1,480	1,525	1,539	1,662	1,624	1.81	1.10

2012年度版 私立大学『大学・学部単位』10年間の志願者動向データ集より(株式会社大学ソリューション・パートナーズ)
志願者増加率は、2008年度の志願者数に対する2012年度の志願者数の増加率(2012志願者数/2008志願者数)

実践女子大学現代生活学科に関するアンケート結果

実施日 平成25年3月24日(日) 実践女子大学オープンキャンパス
 来場者 高校生 274名 回収数 148件 (回収率54%)

問1 あなたの現在(平成25年3月)の学年をお答えください。

1.高校1年生	19
2.高校2年生	107
3.高校3年生	16
4.その他	6

問2 あなたが通っている高校の種別をお答えください。

1.私立・共学	40
2.私立・女子校	30
3.公立・共学	70
4.公立・女子高	4
5.国立・共学	1
6.国立・女子高	0
7.その他(海外の学校、株式会社立など)	0

問3 高校卒業後に考えている進路をお答えください。(複数回答可)

1. 四年制大学	145
2. 短期大学	14
3. 専修学校・各種学校[10]	10
4. 就職	0
5. 家業・家事手伝い	0
6. その他	0

問4 あなたが進学を希望する学部・学科は何ですか。希望するもの最大3つまで選んでください。

1. 理工学分野(理学、工学等)	2
2. 医歯薬分野(医学、歯学、薬学等)	3
3. 看護・保健分野(看護、社会福祉等)	5
4. 人文科学分野(文学、史学、哲学等)	22
5. 社会科学分野(法学・政治学、商学・経済学、社会学等)	21
6. 教育・保育分野(教育、保育等)	31
7. 国際学・学際学分野(国際関係学、言語学、情報学、環境学等)	16
8. 生活科学分野(家政学、食物・栄養学、被服学、住居学、生活文化等)	87
9. 農学分野(農学、水産学、畜産学等)	3
10. 芸術(美術、音楽、デザイン等)	8
11. その他	1

問5 現代生活学科では、次のような人材の育成を目指します。あなたは、これらの人材について魅力を感じますか。魅力を感じるものを選択してください。(いくつでも)

1. 現代生活における諸問題(例:メディアと生活)を構造的に捉え、解決できる人材	38
2. 豊かな教養と社会や仕事に必要なスキルを身につけ、賢い生活者となれる人材	69
3. 社会で働き続ける力を身につけ、社会の変化に対応していける人材	83
4. 変化の激しい時代において、自分で人生設計ができる人材	51
5. 将来の自分の生き方や働き方をデザインし、実践できる人材	90

問6 現代生活学科では、「自立社会と自立生活」、「環境と生活産業」、「メディアと生活」を教育の柱とします。それぞれについて、あなたは学んでみたいと思いますか。学んでみたいと思うものを選択してください。(いくつでも)

1. コミュニティについて、エネルギー、食料、安全などの切り口から検討する	61
2. 生活の中の新しいニーズの発掘と商品・サービスの創造を探る視点を学ぶ	55
3. 地域や地球の環境とその変化をとらえ、新たなビジネスを学ぶ	28
4. 環境の改善に役だつ解決法や、環境と調和した生活を学ぶ	48
5. 現代の生活や社会を情報ネットワークの側面から学ぶ	30
6. 進化する情報技術を用いた経営や新たなサービスの創造などを学ぶ	28

問7 現代生活学科では、次のような特色ある教育を行います。これらの教育方法について、あなたは魅力を感じますか。魅力を感じるものを選択してください。(いくつでも)

- | | |
|---|----|
| 1. 学生10名あたり1名の専任教員を配置する少人数教育 | 76 |
| 2. 考える力、発表する力、積極性などを養うためのディスカッション型授業の豊富な配置 | 54 |
| 3. 世界的な名著・古典を題材にして、物の見方や考え方を深めるグレート・ブックス授業 | 24 |
| 4. 企業と一緒に商品やサービスの企画等を行い、思考力、主体性、協働する力を養う演習型授業 | 65 |
| 5. 実際にプロジェクトを企画・運営するグループワーク | 44 |
| 6. 自分で設定したテーマを追求するフィールドリサーチ | 34 |
| 7. 生き方・働き方を考え、将来にわたり働き続けられる力を養うキャリア教育 | 77 |

問8 現代生活学科の授業科目は次のようなものがあります。あなたは、これらの授業科目に魅力を感じますか。魅力を感じるものを選択してください。(いくつでも)

- | | |
|--|-----|
| 1. 家庭経営(「食生活」「衣環境」「育児・介護」分野) | 110 |
| 2. 現代社会を読み解く(「政治と経済」「生活と産業」「文化と市場」「科学技術と社会」分野) | 26 |
| 3. 「地域文化形成論」、「コミュニティ経済」、「自立生活論」、「少子高齢化社会」、「グローバル社会」 | 30 |
| 4. 「生活産業創出論」、「環境マーケティング論」、「生活ビジネス」、「女性社会論」 | 34 |
| 5. 「メディア生活学」、「メディアアート論」、「映像制作演習」、「メディア生活経営論」、「広告とメディア」 | 35 |

問9 これまでの設問を踏まえ、総合的に考えて、実践女子大学の現代生活学科を志願先として考えたいと思いますか(高校3年生の場合は、進路検討時に現代生活学科があった場合を想像してお答えください)。

- | | |
|-------------------|----|
| 1. 志願先として考えたい | 31 |
| 2. やや志願先として考えたい | 55 |
| 3. あまり志願先としては考えない | 42 |
| 4. 志願先としては考えない | 16 |

問10 問9で「1.志願先として考えたい」または「2.やや志願先として考えたい」を選んだ方にうかがいます。もし現代生活学科に合格した場合、志望度はどのくらいですか。

- | | |
|-------------|----|
| 1. 第一志望としたい | 25 |
| 2. 第二志望としたい | 34 |
| 3. 第三志望としたい | 16 |
| 4. その他 | 9 |

現代生活学科に関するアンケート(Webアンケート)

資料8

[TABLE006]

Q1	本年(2013年)3月1日時点で通っていた高校の種類をお答えください。 単一回答	N	%
1	私立・共学	264	25.6
2	私立・女子校	131	12.7
3	公立・共学	586	56.9
4	公立・女子高	18	1.7
5	国立・共学	19	1.8
6	国立・女子高	0	0.0
7	その他(海外の学校、株式会社立など)	12	1.2
	全体	1030	100.0

[TABLE007]

Q2	高校卒業後に考えている進路をお答え下さい。(いくつでも) 高校3年生の場合は、決まっている進路をお答えください。 複数回答	N	%
1	四年制大学	659	64.0
2	短期大学	81	7.9
3	専修学校・各種学校	238	23.1
4	就職	99	9.6
5	家業・家事手伝い	15	1.5
6	その他(具体的に:【 】)	40	3.9
7	未だ考えていない/答えられない	56	5.4
	全体	1030	100.0

[TABLE008]

Q3	前問で「四年制大学」を選んだ方にうかがいます。 あなたが進学を希望する学部・学科は何ですか。希望するもの最大3つまで選んでください。 高校3年生の場合は、志願先として検討した学部・学科をお答えください。 複数回答	N	%
1	理工学分野(理学、工学 等)	85	12.9
2	医歯薬分野(医学、歯学、薬学 等)	61	9.3
3	看護・保健分野(看護、介護、社会福祉 等)	68	10.3
4	人文科学分野(文学、史学、哲学 等)	139	21.1
5	社会科学分野(法学・政治学、商学・経済学、社会学 等)	208	31.6
6	教育・保育分野(教育、保育 等)	70	10.6
7	国際学・学際学分野(国際関係学、言語学、情報学、環境学 等)	127	19.3
8	生活科学分野(家政学、食物・栄養学、被服学、住居学 等)	48	7.3
9	農学分野(農学、水産学、畜産学 等)	39	5.9
10	芸術(美術、音楽、デザイン 等)	82	12.4
11	その他	34	5.2
	全体	659	100.0

[TABLE009]

Q4	現代生活学科では、次のような人材の育成を目指します。あなたは、これらの人材について魅力を感じますか。 単一回答	全体	1	2	3	4
			魅力を感じる	やや魅力を感じる	あまり魅力を感じない	魅力を感じない
1	現代生活における諸問題(例:メディアと生活)を構造的に捉え、解決できる人材	1030 100.0	222 21.6	507 49.2	228 22.1	73 7.1
2	豊かな教養と社会や仕事で必要なスキルを身につけ、賢い生活者となれる人材	1030 100.0	318 30.9	505 49.0	142 13.8	65 6.3
3	社会で働き続ける力を身につけ、社会の変化に対応していける人材	1030 100.0	360 35.0	476 46.2	136 13.2	58 5.6
4	変化の激しい時代において、自分で人生設計ができる人材	1030 100.0	306 29.7	479 46.5	182 17.7	63 6.1
5	将来の自分の生き方や働き方をデザインし、実践できる人材	1030 100.0	356 34.6	486 47.2	135 13.1	53 5.1

[TABLE010]

Q5	現代生活学科では、「自立社会と自立生活」、「環境と生活産業」、「メディアと生活」を教育の柱とします。それぞれについて、あなたは学んでみたいと思いませんか。 単一回答	全体	1	2	3	4
			学んでみたい	やや学んでみたい	あまり学んでみたくない	学んでみたくない
1	コミュニティについて、エネルギー、食料、安全などの切り口から検討する	1030 100.0	131 12.7	386 37.5	408 39.6	105 10.2
2	生活の中の新しいニーズの発掘と商品・サービスの創造を探る視点を学ぶ	1030 100.0	194 18.8	432 41.9	307 29.8	97 9.4
3	地域や地球の環境とその変化をとらえ、新たなビジネスを学ぶ	1030 100.0	148 14.4	388 37.7	386 37.5	108 10.5
4	環境の改善に役だつ解決法や、環境と調和した生活を学ぶ	1030 100.0	162 15.7	382 37.1	381 37.0	105 10.2
5	現代の生活や社会を情報ネットワークの側面から学ぶ	1030 100.0	195 18.9	415 40.3	316 30.7	104 10.1
6	進化する情報技術を用いた経営や新たなサービスの創造などを学ぶ	1030 100.0	219 21.3	421 40.9	297 28.8	93 9.0

[TABLE011]

Q6	現代生活学科では、次のような特色ある教育を行います。これらの教育方法について、あなたは魅力を感じますか。 単一回答	全体	1	2	3	4
			魅力を感じる	やや魅力を感じる	あまり魅力を感じない	魅力を感じない
1	学生10名あたり1名の専任教員を配置する少人数教育	1030 100.0	342 33.2	467 45.3	167 16.2	54 5.2
2	考える力、発表する力、積極性などを養うためのディスカッション型授業の豊富な配置	1030 100.0	257 25.0	445 43.2	257 25.0	71 6.9
3	世界的な名著・古典を題材にして、物の見方や考え方を深めるグレート・ブックス授業	1030 100.0	185 18.0	381 37.0	380 36.9	84 8.2
4	企業と一緒に商品やサービスの企画・開発を行い、思考力、主体性、協働する力を養う演習型授業	1030 100.0	375 36.4	411 39.9	184 17.9	60 5.8
5	実際にプロジェクトを企画・運営するグループワーク	1030 100.0	310 30.1	428 41.6	227 22.0	65 6.3
6	自分で設定したテーマを追求するフィールドリサーチ	1030 100.0	205 19.9	472 45.8	287 27.9	66 6.4
7	生き方・働き方を考え、将来にわたり働き続けられる力を養うキャリア教育	1030 100.0	278 27.0	495 48.1	204 19.8	53 5.1

[TABLE012]

Q7	現代生活学科の授業科目は次のようなものがあります。あなたは、これらの授業科目に魅力を感じますか。 単一回答	全体	1	2	3	4
			魅力を感じる	やや魅力を感じる	あまり魅力を感じない	魅力を感じない
1	「家庭経営」(「食生活」「衣環境」「育児・介護」分野)	1030 100.0	232 22.5	387 37.6	298 28.9	113 11.0
2	「現代社会を読み解く」(「政治と経済」「生活と産業」「文化と市場」「科学技術と社会」分野)	1030 100.0	151 14.7	390 37.9	386 37.5	103 10.0
3	「地域文化形成論」、「コミュニティ経済」、「自立生活論」、「少子高齢化社会」、「グローバル社会」	1030 100.0	178 17.3	358 34.8	375 36.4	119 11.6
4	「生活産業創出論」、「環境マーケティング論」、「生活ビジネス」、「女性社会論」	1030 100.0	159 15.4	388 37.7	361 35.0	122 11.8
5	「メディア生活学」、「メディアアート論」、「映像制作演習」、「メディア生活経営論」、「広告とメディア」	1030 100.0	240 23.3	385 37.4	311 30.2	94 9.1

[TABLE013]

Q8	これまでの設問を踏まえ、総合的に考えて、実践女子大学の現代生活学科を志願先として考えたいと思いますか。 (高校3年生の場合は、進路検討時に現代生活学科があった場合を想像してお答えください) 単一回答	N	%
1	志願先として考えたい(考えたと思う)	22	2.1
2	やや志願先として考えたい(やや考えたと思う)	164	15.9
3	あまり志願先としては考えない(あまり考えなかったと思う)	421	40.9
4	志願先としては考えない(考えなかったと思う)	423	41.1
全体		1030	100.0

[TABLE014]

Q9	前問で「志願先として考えたい(考えたと思う)」または「やや志願先として考えたい(やや考えたと思う)」を選んだ方にうかがいます。もし現代生活学科に合格した場合、志望度はどのくらいですか(高校3年生は、進路決定時を想像してお答えください)。 単一回答	N	%
1	第一志望としたい	16	8.6
2	第二志望としたい	61	32.8
3	第三志望としたい	59	31.7
4	第四志望またはそれ以下	50	26.9
全体		186	100.0

[TABLE015]

Q10	前問で「あまり志願先としては考えない(あまり考えなかったと思う)」または「志願先としては考えない(考えなかったと思う)」を選んだ方にうかがいます。そのような回答をされた理由をお答えください。(いくつでも) 複数回答	N	%
1	現代生活学科に魅力を感じないため	297	35.2
2	実践女子大学の入試の難易度が高いため	56	6.6
3	実践女子大学の入試の難易度が低いため	107	12.7
4	強く入学を希望する大学があり、その他の大学に興味を持てないため	358	42.4
5	進学先は共学しか考えていない(いなかった)ため	249	29.5
6	その他(具体的に:【 】)	93	11.0
全体		844	100.0

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
	学長	タジマ マコト 田島 眞 <平成25年4月>		農学博士		実践女子大学 学長 (平成25年4月) 実践女子大学 生活科学部教授 (平成3年4月)

(注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。

別記様式第3号（その2の1）

教 員 の 氏 名 等

（生活科学部現代生活学科）

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年	当 次	担当 単 位 数	年間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る 大学等の 職務に 従事する 週当たり 平均日数
1	専	教授 (学科主任)	イヌカ ジュンイチロウ 大塚 潤一郎 <平成26.4>		博士(学術情 報学)		実践入門セミナー 現代生活学 ゼミナール ファイナルプロジェクト グレートワークセミナー1 グレートワークセミナー2a 環境マーケティング論a 環境マーケティング論演習a 環境思想a 環境思想b 環境思想演習 メディアアート論a メディアアート論b 映像制作演習a メディア生活経営論a メディア生活経営論演習a	1前 2後 3 4 1前 2.3.4前 2・3前 2・3後 3前 3前 3後 2・3後 2・3後 2・3前 3前 3後	2 2 4 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1(隔年) 1(隔年) 1 1(隔年) 1(隔年) 1(隔年) 1 1	実践女子大学生生活科学部 教授 (平成20.4)	5日	
2	専	教授	スガ エキコ 須賀 由紀子 <平成26年4月>		体育学修士		実践入門セミナー ゼミナール ファイナルプロジェクト 現代社会を読み解くc(文化と 市場) コミュニティ概論 グレートワークセミナー1 グレートワークセミナー2b 地域文化形成論 自立生活論a(健康) 少子高齢化社会 生活産業創出論 女性社会論a 比較文化論a 比較文化論b	1前 3 4 1後 1後 1前 2・3・4後 2・3後 2・3前 2・3前 2前 3前 1前 1後	2 4 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	実践女子大学生生活科学部 准教授 (平成19.4)	5日	
3	専	教授	ウキネ マチ 行実 洋一 <平成26年4月>		博士(情報社会 学)		実践入門セミナー ビジネスプランニング プロジェクト演習a プロジェクト演習b ゼミナール ファイナルプロジェクト グローバル社会 生活ビジネスb(コミュニティ ビジネス) 生活ビジネスc(マイクロビ ジネス) メディア生活学a メディアテクノロジー演習b (ゼミナール) メディア生活経営論b メディア生活経営論演習b 広告とメディア	1前 1後 2後 3後 3 4 4 2・3後 2・3前 2・3後 2・3前 2 2 3後 4前 2・3後	2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	TBSテレビ情報制作部 プロデューサー (平成11年4月) 株式会社ブルームロン 代表取締役 (平成24年3月)	5日	
4	専	准教授	ノツ タシ 野津 喬 <平成26年4月>		博士(公共政 策分析)		実践入門セミナー プロジェクト演習a プロジェクト演習b ゼミナール ファイナルプロジェクト 現代社会を読み解くb (生活と産業) コミュニティ経済演習 自立生活論b(消費者) 地域食料論 地域食料論演習 環境経済学 生活産業史 女性社会論b	1前 2後 3後 3 4 4 1前 2・3前 2・3後 2・3前 3後 2・3前 2・3後 3後 3後	2 2 2 4 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	農林水産省 食料産業局 課長補佐 (平成23年9月)	5日	
5	専	准教授	スガノ モトキ 菅野 元行 <平成26年4月>		博士(工学)		実践入門セミナー ビジネスプランニング プロジェクト演習a プロジェクト演習b ゼミナール ファイナルプロジェクト フィールドリサーチ 現代社会を読み解くd (科学技術と社会) 環境科学概論 地域エネルギー論 地域エネルギー論演習 エコビジネス演習 環境工学及び調査 生活ビジネスa(グリーンビ ジネス)	1前 1後 2後 3後 3 4 4 1後 1後 1後 1前 2・3前 2・3前 3後 3後 2・3前 2・3前 2・3前	2 2 2 2 4 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	日本工学院専門学校 非常勤講師 (平成25年4月) 東京バイオテクノロジー専門学校 非常勤講師 (平成25年4月)	5日	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年 次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る 大学等の 職務に 従事する 週当たり 平均日数
6	専	講師	カワイ ノブアキ 河井 延晃		修士(学際情 報学)		実践入門セミナー プロジェクト演習a プロジェクト演習b ゼミナール ファイナルプロジェクト 基礎メディア技術 プレゼンテーション技法 フィールドリサーチ 1後 1後 統計とモデリング メディア社会概論 メディア生活学b メディアテクノロジー演習 a(Web) 情報セキュリティ社会	1前 2後 2後 3後 3 4 4 1前 1前 1前 1後 1後 1後 2・3後 2・3前 2・3前	2 2 2 4 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	実践女子大学 生活科学部 講師 (平成21年4月)	5日
7	兼任	教授	カネダ ハシム 金田 肇 <平成26年4月>		経済学士		実践キャリアプランニング	2前・後	4	2	実践女子大学 生活科学部 教授 (平成22年4月)	
8	兼任	教授	ブルック、ユージン Bulach, Juergen <平成26年4月>		教育学修士		インテグレートド・インクリッシュ スピーキング・スキルズ	1前 1前・後	4 4	4 4	実践女子大学 文学部 教授 (平成23年4月)	
9	兼任	教授	ウエノ エイコ 上野 英子 <平成26年4月>		文学修士		文学概論	1前	2	1	実践女子大学 文学部 教授 (平成20年4月)	
10	兼任	教授	カナダ テルヨシ 棚田 輝嘉 <平成26年4月>		文学修士※		女性と文学	1後	2	1	実践女子大学 文学部 教授 (平成12年4月)	
11	兼任	教授	オホノ ミノル 乙訓 稔 <平成26年4月>		文学博士		教育史a 教育史b	1前 1後	2 2	1 1	実践女子大学 生活科学部 教授 (平成1年4月)	
12	兼任	教授	トミタ ヨウゾウ 富田 洋三 <平成26年4月>		経済学修士		経済学a 経済学b 日本経済論a 日本経済論b 現代社会を読み解くa (政治と経済)	1前 1後 1前 1前 1後 1前	2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	実践女子大学 生活科学部 教授 (昭和63年4月)	
13	兼任	教授	ヤマザキ タケシ 山崎 壮 <平成26年4月>		博士(薬学)		化学の世界a 化学の世界b	1後 2前	2 2	1 1	実践女子大学 生活科学部 教授 (平成24年4月)	
14	兼任	教授	ヤマザキ カズヒロ 山崎 和彦 <平成26年4月>		医学博士		環境科学	1前	2	1	実践女子大学 生活科学部 教授 (平成10年4月)	
15	兼任	教授	ヤマタ シゲル 山田 茂 <平成26年4月>		博士(理学)		身体運動の科学a 基礎スポーツ実習c スポーツ基礎科学実習b	1前 1前・後 1前・後 1前・後	2 2 2 2	1 2 2 2	実践女子大学 生活科学部 教授 (平成22年4月)	
16	兼任	教授	イノウエ チエコ 井上 千枝子 <平成26年4月>		体育学学士		健康運動実習a 健康運動実習b 基礎スポーツ実習b 健康体力科学演習	1前・後 1前・後 1前・後 1前・後	2 2 2 2	2 2 2 2	実践女子大学 生活科学部 教授 (平成24年4月)	
17	兼任	教授	カチバナ ヒロシ 橋 弘志 <平成26年4月>		博士(工学)		住居学	2前	2	1	実践女子大学 生活科学部 教授 (平成23年4月)	
18	兼任	教授	ホンマ ヨウコ 本間 洋子 <平成26年4月>		博士(医学)		育児学	3前・後	2	1	実践女子大学 生活科学部 教授 (平成20年4月)	
19	兼任	教授	フルカワ ススム 古川 漸 <平成26年4月>		医学博士		栄養学	2後	2	1	実践女子大学 生活科学部 教授 (平成20年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る 大学等の 職務に 従事する 週あたり 平均日数
20	兼任	准教授	フリハタ ヨシヒコ 降旗 芳彦 <平成26年4月>		文学修士※		哲学入門a 哲学入門b 倫理学入門a 倫理学入門b 西洋思想史a 西洋思想史b	1前 1後 1前 1後 1前 1後	2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	実践女子大学 文学部 准教授 (平成6年4月)	
21	兼任	准教授	オカワ トモコ 大川 知子 <平成26年4月>		博士(経営学)		衣文化論	1前	2	1	実践女子大学 生活科学部 准教授 (平成25年4月)	
22	兼任	准教授	サトウ タケシ 佐藤 健 <平成26年4月>		博士(工学)		くらしの人間工学 健康運動実習a 健康運動実習b スポーツ基礎科学実習a	1後 1前 1後 1前・後	2 1 1 2	1 1 1 2	実践女子大学 生活科学部 准教授 (平成19年4月)	
23	兼任	准教授	サトウ サチコ 佐藤 幸子 <平成26年4月>		博士(食物栄養学)		食物学 調理学及び実習	3前 3前	2 2	1 1	実践女子大学 生活科学部 准教授 (平成25年4月)	
24	兼任	講師	シュニッケル・ジエコブ Schnickel, Jacob <平成26年4月>		Master of arts		インテグレート・イングリッシュ スピーキング・スキルズ	1後 1前・後	2 2	1 2	実践女子大学 文学部 講師 (平成24年4月)	
25	兼任	講師	カナツ ケン 金津 謙 <平成26年4月>		修士(法学)		日本国憲法	1前・後	2	1	実践女子大学 人間社会学部 講師 (平成21年4月)	
26	兼任	講師	イチゲ ヨシコ 市毛 洋子 <平成23年4月>		Master's degree in TESOL (米国)		インテグレート・イングリッシュ リーディング・スキルズ リスニング・スキルズ	1後 1前 1前・後	1 1 2	1 1 2	実践女子大学 兼任講師 (平成18年9月)	
27	兼任	講師	ツネミ ヨウヘイ 常見 陽平 <平成23年4月>		商学士		実践キャリアデザイン キャリアデザイン グローバルキャリアデザイン ライフプランニング	2前・後 3前 3後 2前	4 2 2 2	2 1 1 1	株式会社 クオリティ・オブ・ライフ チーフプランナー (平成21年2月)	
28	兼任	講師	ナガイ トモコ 永井 ともこ <平成23年4月>		短期大学卒業		伝統文化の精神と実践	2後	2	1	実践女子大学 兼任講師 (平成22年4月)	
29	兼任	講師	ヤマヤ マナ 山谷 真名 <平成23年4月>		修士(家庭経営学)		女性と職業	2前・後	4	2	実践女子大学 兼任講師 (平成23年4月)	
30	兼任	講師	クロサキ シノブ 黒崎 紫乃 <平成23年4月>		Master of Science in Education (米国)		インテグレート・イングリッシュ	1前	2	1	実践女子大学 兼任講師 (平成19年4月)	
31	兼任	講師	ヤナセ ミカ 柳瀬 実佳 <平成26年4月>		Master of Education (米国)		リスニング・スキルズ	1前・後	2	2	実践女子大学 兼任講師 (平成18年4月)	
32	兼任	講師	フジワラ マサミチ 藤原 正道 <平成26年4月>		修士(教育学)		インテグレート・イングリッシュ ビジネス・イングリッシュ	1前 2後	2 1	1 1	実践女子短期大学 英語コミュニケーション学科 准教授 (平成12年4月)	
33	兼任	講師	ツチヤ ヨウスケ 土屋 陽介 <平成26年4月>		博士(工学)		情報リテラシー基礎a 情報リテラシー基礎b	1前 1後	1 1	1 1	産業技術大学院大学 産業技術研究科 助教 (平成18年7月)	
34	兼任	講師	カムラ タイチ 中村 太一 <平成26年4月>		Ph. D. (英国)		リーディング・スキルズ TOEICリーディング	1前 2後	2 2	2 2	専修大学 経営学部 教授 (平成19年4月)	
35	兼任	講師	ヨシノ ヤスコ 吉野 康子 <平成26年4月>		国際学修士		リーディング・スキルズ TOEICリーディング	1前 2後	2 2	2 2	実践女子大学 兼任講師 (平成21年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年	当 次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る 大学等の 職務に 従事する 週当たり 平均日数
36	兼任	講師	ワハヤシ クニコ 若林 邦子 <平成23年4月>		修士 (英文学)		リーディング・スキル TOEICリーディング	1前 2後	2 2	2 2	2 2	実践女子大学 兼任講師 (昭和53年4月)	
37	兼任	講師	イムラ キョウコ 今村 京子 <平成26年4月>		修士 (文学)		リスニング・スキル TOEICリスニング	1前 2後	2 2	2 2	2 2	実践女子大学 兼任講師 (平成16年4月)	
38	兼任	講師	タマル ユミコ 田丸 由美子 <平成23年4月>		文学修士※		リスニング・スキル TOEICリスニング	1前 2後	2 2	2 2	2 2	実践女子大学 兼任講師 (平成8年7月)	
39	兼任	講師	カウシイ サチ 唐牛 幸子 <平成26年4月>		文学修士		フランス語1a フランス語1b フランス語2a フランス語2b フランス文学a フランス文学b	1前 1後 2前 2後 1前 1後	1 1 1 1 2 2	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	実践女子大学 兼任講師 (平成13年4月)	
40	兼任	講師	タケノ シホ 武田 志保子 <平成26年4月>		文学修士		フランス語1a フランス語1b	1前 1後	1 1	1 1	1 1	実践女子大学 兼任講師 (平成7年4月)	
41	兼任	講師	フジイ ヨウコ 藤井 陽子 <平成26年4月>		博士(文学)		フランス語1a フランス語1b	1前 1後	1 1	1 1	1 1	実践女子大学 兼任講師 (平成23年4月)	
42	兼任	講師	オノワ タカシ 小澤 直 <平成23年4月>		文学修士※		ドイツ語1a ドイツ語1b	1前 1後 2前 2後	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	実践女子大学 兼任講師 (昭和63年4月)	
43	兼任	講師	ミツイ ユウコ 満井 裕子 <平成23年4月>		Doktor der Philosophie (独逸)		ドイツ語1a ドイツ語1b ドイツ語2a ドイツ語2b	1前 1後 2前 2後	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	実践女子大学 兼任講師 (平成18年10月)	
44	兼任	講師	ササキ シゲル 佐々木 滋 <平成23年4月>		文学修士		ドイツ語1a ドイツ語1b ドイツ文学a ドイツ文学b	1前 1後 1前 1後	1 1 2 2	1 1 1 1	1 1 1 1	明星大学 文学部 教授 (平成15年4月)	
45	兼任	講師	タナカ アミ 田中 亜美 <平成26年4月>		修士(文学)		ドイツ語1a ドイツ語1b	1前 1後	1 1	1 1	1 1	実践女子大学 兼任講師 (平成23年4月)	
46	兼任	講師	サイキョウケン 蔡 曉軍 <平成23年4月>		修士※ (文学)		中国語1a 中国語1b 中国語2a 中国語2b	1前 1後 2前 2後	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	実践女子大学 兼任講師 (平成12年4月)	
47	兼任	講師	ヨシエト 楊 英華 <平成26年4月>		文学博士		中国語1a 中国語1b 中国語2a 中国語2b	1前 1後 2前 2後	2 2 1 1	2 2 1 1	2 2 1 1	実践女子大学 兼任講師 (平成13年4月)	
48	兼任	講師	リュウ ソエイ 劉 素英 <平成26年4月>		文学修士		中国語1a 中国語1b 中国語2a 中国語2b	1前 1後 2前 2後	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	実践女子大学 兼任講師 (平成6年4月)	
49	兼任	講師	ハク キョウ 朴 校熙 <平成26年4月>		教育学博士		コリア語1a コリア語1b コリア語2a コリア語2b	1前 1後 2前 2後	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	実践女子大学 兼任講師 (平成19年4月)	
50	兼任	講師	タナカ ヨシアキ 田井中 承昭 <平成26年4月>		美術修士		情報リテラシー応用a	2前・後	2	2	2	実践女子大学 兼任講師 (平成12年9月)	
51	兼任	講師	アマカサ クニカズ 天笠 邦一 <平成26年4月>		博士(政策・ メディア)		情報リテラシー応用b	1後	2	2	2	実践女子大学 兼任講師 (平成24年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年 当 次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る 大学等の 職務に 従事する 週当たり 平均日数
52	兼任	講師	イカダ リマ 池田 徳正 <平成26年4月>		修士(学術情 報学)		情報リテラシー応用c 情報リテラシー実践c	1後	2	2	実践女子大学 兼任講師 (平成25年4月)	
53	兼任	講師	カネ テツジ 金子 徹治 <平成26年4月>		修士(生物統 計学)		情報リテラシー実践a	2前・後	1	1	実践女子大学 兼任講師 (平成24年9月)	
54	兼任	講師	カイ ヒロミ 金井 宏水 <平成26年4月>		芸術学士		情報リテラシー実践b	1後	2	2	実践女子大学 兼任講師 (平成25年4月)	
55	兼任	講師	アノカ カリ 安中 隆徳 <平成26年4月>		文学修士※		哲学入門a 哲学入門b 現代倫理学a 現代倫理学b 社会思想史a 社会思想史b	1前 1後 1前 1後 1前 1後	2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	実践女子大学 兼任講師 (平成12年4月)	
56	兼任	講師	オカベ ヒデオ 岡部 英男 <平成26年4月>		文学修士※		現代の哲学a 現代の哲学b 倫理学入門a 倫理学入門b	1前 1後 1前 1後	2 2 2 2	1 1 1 1	東京音楽大学 音楽学部 専任講師 (平成3年4月)	
57	兼任	講師	ヒカサ カツ 樋笠 勝士 <平成26年4月>		文学修士		美学a 美学b	1前 1後	2 2	1 1	上智大学 文学部 教授 (平成16年4月)	
58	兼任	講師	カトヤ アキヒロ 角屋 明彦 <平成26年4月>		学術修士※		中国の思想a 中国の思想b	1前 1後	4 4	2 2	実践女子大学 兼任講師 (平成3年4月)	
59	兼任	講師	ミヅカミ マサヨ 水上 文義 <平成26年4月>		博士(仏教 学)		仏教思想史a 仏教思想史b	2前 2後	2 2	1 1	実践女子大学 兼任講師 (平成24年4月)	
60	兼任	講師	コバヤシ マチコ 小林 真知子 <平成26年4月>		学術博士		初級教概論a 初級教概論b 比較文学a 比較文学b	2前 2後 2前 2後	2 2 2 2	1 1 1 1	実践女子大学 兼任講師 (平成2年4月)	
61	兼任	講師	ハヤシ ユウコ 林 悠子 <平成26年4月>		修士(文学)		日本の文学a 日本の文学b	1前 1後 1前 1後	2 2 2 2	1 1 1 1	実践女子大学 兼任講師 (平成25年4月)	
62	兼任	講師	エチゴ ケイコ 越後 敬子 <平成26年4月>		修士(文学)		日本の文学c 日本の文学d	1前 1後	2 2	1 1	実践女子大学 兼任講師 (平成22年4月)	
63	兼任	講師	チバ ミキオ 千葉 幹夫 <平成23年4月>		法学士		児童文学論a 児童文学論b	1前 1後	2 2	1 1	実践女子大学 兼任講師 (平成21年4月)	
64	兼任	講師	イハラ アヤ 井原 あや <平成26年4月>		博士(文学)		女性と文学	1前	2	1	実践女子大学 兼任講師 (平成25年4月)	
65	兼任	講師	アイハラ カズキ 合原 勝之 <平成26年4月>		芸術学士		生活文化論b 映像制作演習b メディアテクノロジー演習c(開 発) ビジネス・スキルa ビジネス・スキルb	1後 2・3前 2・3前 2前 3後	2 2 2 2 2	1 1(隔年) 1 1 1	実践女子大学 兼任講師 (平成24年4月)	
66	兼任	講師	テラモト(ヤマウチ) ミチコ 寺本(山内) 美奈子 <平成26年4月>		修士 (造形)		出版文化論a 出版文化論b	1前 3後	2 2	1 1	凸版印刷株式会社 印刷博物館 学芸員 (平成10年9月)	
67	兼任	講師	モリヤ アキコ 守屋 亜記子 <平成26年4月>		博士(文学)		食文化論	1前 1後	2 2	1 1	実践女子大学 兼任講師 (平成25年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年	当 次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る 大学等の 職務に 従事する 週当たり 平均日数
68	兼任	講師	シマキ ユウコ 島崎 裕子 <平成26年4月>		博士(国際関 係学)		文化人類学a 文化人類学b	1前 1後	2 2	1 1		実践女子大学 兼任講師 (平成24年4月)	
69	兼任	講師	オホボ リョウ 大久保 遼 <平成26年4月>		修士(学術)		メディア論a メディア論b	1前 1後 1前 1後	2 2 2 2	1 1 1 1		実践女子大学 兼任講師 (平成25年4月)	
70	兼任	講師	オホウラ キョウスケ 大倉 恭輔 <平成26年4月>		修士(文学)		メディア論a メディア論b	1前 1後	2 2	1 1		実践女子短期大学 准教授 (平成19年4月)	
71	兼任	講師	カワハタ ミキ 川端 美樹 <平成26年4月>		社会学修士		情報文化論a 情報文化論b	1前 1後	2 2	1 1		目白大学 社会学部 准教授 (平成12年4月)	
72	兼任	講師	ヌイ カズミ 貫井 一美 <平成26年4月>		文学修士		世界の美術	1前	2	1		実践女子大学 兼任講師 (平成16年4月)	
73	兼任	講師	カナ ヒデトシ 金谷 英俊 <平成26年4月>		修士(心理 学)		心理学概論	1前・後	2	1		実践女子大学 兼任講師 (平成25年4月)	
74	兼任	講師	ヨムリ トモキ 余村 朋樹 <平成26年4月>		修士(人間科 学)		心理学概論	1前・後	2	1		実践女子大学 兼任講師 (平成24年9月)	
75	兼任	講師	オカダ ヒロシ 岡田 斉 <平成26年4月>		文学修士※		心理学a 心理学b	1前 1後	2 2	1 1		文教大学 人間科学部 教授 (平成11年4月)	
76	兼任	講師	スガノ タカシ 菅沼 崇 <平成26年4月>		修士※ (教育学)		心理学a 心理学b	1前・後 1前 3前	2 2 2	1 1 1		相模女子大学 人間社会学部 教授 (平成24年4月)	
77	兼任	講師	サトウ エミ 佐藤 恵美 <平成26年4月>		博士 (心理学)		発達心理学a 発達心理学b	1前 1後	4 4	2 2		東京富士大学 経営学部 准教授 (平成24年4月)	
78	兼任	講師	アキ ヒデオ 青木 秀雄 <平成26年4月>		教育学 修士※		教育学a 教育学b	2前 2後	2 2	1 1		明星大学 教育学部 教授 (平成15年4月)	
79	兼任	講師	サイノウ タカシ 斎藤 孝 <平成26年4月>		法学修士		日本国憲法 法学 政治学a 政治学b	1前・後 1前 1前 1後	4 2 2 2	2 1 1 1		岐阜聖徳学園大学 教育学部 教授 (平成16年4月)	
80	兼任	講師	シズキ ヤヨイ 清水 弥生 <平成26年4月>		修士(法律 学)		法と生活	2前・後	2	1		実践女子大学 兼任講師 (平成25年4月)	
81	兼任	講師	チモト ヒデアキ 千本 秀樹 <平成26年4月>		博士 (文学)		日本史a 日本史b	1前 1後	4 4	2 2		筑波大学 大学院人文社会科学研究科 教授 (昭和62年9月)	
82	兼任	講師	アキヤマ チエ 秋山 千恵 <平成26年4月>		修士 (史学)		西洋史a 西洋史b	1前 1後	4 4	2 2		実践女子大学 兼任講師 (平成17年4月)	
83	兼任	講師	クマガイ シゲゾウ 熊谷 滋三 <平成26年4月>		文学修士※		東洋史a 東洋史b	1前 1後	4 4	2 2		実践女子大学 兼任講師 (平成23年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年	当 次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る 大学等の 職務に 従事する 週当たり 平均日数
84	兼任	講師	タハヤシ カズヒロ 竹林 和彦 <平成26年4月>		修士※ (教育学)		地理学	1前	2	1	1	渋谷教育学園 渋谷中学高等学校 教諭 (平成18年4月)	
85	兼任	講師	ハシハラ アキヒロ 林原 玲洋 <平成26年4月>		博士 (社会学)		社会学a 社会学b	1前 1後	2 2	1 1	1	実践女子大学 非常勤講師 (平成23年4月)	
86	兼任	講師	イノ トモ 飯野 智子 <平成26年4月>		社会学修士※		ジェンダー論a	1前	2	2	1	実践女子大学 兼任講師 (平成16年4月)	
87	兼任	講師	モリヤマ タカシ 森山 至貴 <平成26年4月>		博士(学術)		ジェンダー論b	1後	2	2	1	実践女子大学 兼任講師 (平成25年4月)	
88	兼任	講師	フクダ サチオ 福田 幸夫 <平成26年4月>		文学修士		社会保障論	2前	2	2	1	いわき明星大学 人文学部 准教授 (平成20.4)	
89	兼任	講師	サトウ ヨシタカ 佐藤 義隆 <平成26年4月>		理学修士		数学の世界	1前	2	2	1	芝浦工業大学 デザイン工学部 教授 (平成22年4月)	
90	兼任	講師	カツノ ケイコ 勝野 恵子 <平成26年4月>		Ph. D. (英国)		統計の世界	1後	2	2	1	実践女子大学 兼任講師 (平成4年4月)	
91	兼任	講師	オホシ リユキ 大下 範幸 <平成26年4月>		理学博士		物理の世界	1前 1後	2 2	2 2	1 1	実践女子大学 兼任講師 (平成22年4月)	
92	兼任	講師	テラカ オサム 寺坂 治 <平成26年4月>		理学博士		生物の世界	1前	2	2	1	東京慈恵会医科大学 医学部 教授 (平成12年8月)	
93	兼任	講師	アジリ テイゾウ 阿尻 貞三 <平成26年4月>		医学博士		生命と環境	1前	2	2	1	実践女子短期大学 食物栄養学科 教授 (平成15年4月)	
94	兼任	講師	サイノウ ヒロフミ 斎藤 宏文 <平成26年4月>		博士(学術)		科学思想史	2前 1後	2 2	2 2	1 1	実践女子大学 兼任講師 (平成25年4月)	
95	兼任	講師	キミヅカ ヨシテル 君塚 芳輝 <平成26年4月>		農学修士		環境と産業技術a 環境と産業技術b フィールドリサーチ 環境マネジメント論	1前 1後 1後 2・3後	2 2 2 2	2 2 2 2	1 1 1 1	実践女子大学 兼任講師 (平成18年4月)	
96	兼任	講師	ワカヅマ アキラ 我妻 玲 <平成26年4月>		博士(運動生 化学)		身体運動の科学b	1後	2	2	1	実践女子大学 兼任講師 (平成25年4月)	
97	兼任	講師	ナミ ヒデアキ 南 英樹 <平成26年4月>		体育学修士※		スポーツ文化論 健康運動実習a 健康運動実習b	1前 1前・後 1前・後	2 2 2	2 2 2	1 2 2	実践女子大学 兼任講師 (平成18年4月)	
98	兼任	講師	カワガ ミホ 河田 美保 <平成26年4月>		修士 (体育学)		健康運動実習b 基礎スポーツ実習c ヘルスプロモーション実践実習a ヘルスプロモーション実践実習b	1前・後 1前・後 1前・後 1前・後	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	実践女子大学 兼任講師 (平成19年4月)	
99	兼任	講師	タカハシ エイイチ 高橋 英一 <平成26年4月>		体育学士		基礎スポーツ実習a 基礎スポーツ実習b	1前・後 1前・後	2 2	2 2	2 2	実践女子大学 兼任講師 (平成24年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年	当 次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る 大学等の 職務に 従事する 週当たり 平均日数
100	兼任	講師	ススキジュン 鈴木 淳也 <平成26年4月>		修士 (教育学)		基礎実習c 応用科学実習	1前・後 1前・後 1前・後 1前・後	1 1 6 2 2	1 1 6 2 2		実践女子大学 兼任講師 (平成22年4月)	
101	兼任	講師	カハラ タカ 笠原 武子 <平成26年4月>		体育学士		基礎実習d	1前・後 1前・後	1 1	1 1		筑波大学附属 桐が丘養護学校 (平成19.3まで)	
102	兼任	講師	シヲ ミ 白尾 美佳 <平成26年4月>		博士(医学)		家庭経営a(食生活)	1前	2	1	1	実践女子短期大学 教授 (平成21年4月)	
103	兼任	講師	ヨシムラ ムミ 吉村 真由美 <平成26年4月>		博士(学術)		家庭経営b(衣環境) 衣服製作実習b	1前 3後	2 1	1 1		実践女子大学 兼任講師 (平成25年4月)	
104	兼任	講師	マツダ リコ 松田 典子 <平成26年4月>		修士(家政 学)		家庭経営c(育児・介 護) 家庭経営論	1後 1後	2 2	1 1		文教大学 教育学部 専任講師 (平成25年4月)	
105	兼任	講師	オオハシ リアキ 大場 紀章 <平成26年4月>		修士(理学)		自立生活論c(安全と保 障)	2・3後	2	1		(株)テクノバ 調査研究部 研究員	
106	兼任	講師	タノグチ コウジ 谷口 浩二 <平成26年4月>		MBA		環境マーケティング論b 環境マーケティング論演習b 社会責任論 ビジネス・スキルa ビジネス・スキルb 企業研究a 企業研究b	2・3前 2・3後 2・3後 2前 2後 2後 3前	2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1		実践女子大学 兼任講師 (平成23年4月)	
107	兼任	講師	ナカムラ リツコ 中村 立子 <平成26年4月>		工学博士		衣料学 衣料学演習	2前 2後	2 2	1 1		実践女子大学 兼任講師 (平成18年4月)	
108	兼任	講師	マツオカ クミコ 松岡 久美子 <平成26年4月>		修士(家政 学)		衣服製作実習a	3前	1	1		実践女子大学 兼任講師 (昭和62年4月)	
109	兼任	講師	フジムラ アキコ 藤村 明子 <平成26年4月>		修士(家政 学)		衣服製作実習c	3後	2	1		実践女子大学 兼任講師 (平成16年4月)	
110	兼任	講師	ゴトリ カツヲ 後藤 桂子 <平成26年4月>		看護学修士		看護学	2前・後	4	2		埼玉県立大学 保健医療福祉学部 准教授 (平成25年4月)	
111	兼任	講師	カアゲ ヒサコ 攪上 久子 <平成26年4月>		家政学士		保育学	2前	4	2		実践女子大学 兼任講師 (平成22年4月)	
112	兼任	講師	オノエ マサキ 尾上 正行 <平成26年4月>		工学士		家庭工学	2前・後	2	1		実践女子大学 兼任講師 (平成22年4月)	